

令和2年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名
決算書

教育総務課
119p

大事業名	吉川保育所管理事業	款	項	目
		民生費	児童福祉費	児童福祉施設費
総合計画	政策	地域で育て、地域で育つ、人を大切にするまちづくり		
	基本施策	安心して働ける子育て支援の充実		
	施策	子育て支援環境の充実		
	総合戦略			
個別計画		豊能町学校等施設個別施設計画		

1.概要

事業内容	吉川保育所の施設・設備等の修繕や改修等を行う。
対象	吉川保育所の施設・設備・備品等
意図・目的	吉川保育所の施設・設備等の適正な維持・管理及び児童の保育環境の充実に資することを目的とする。

2.構成事業

小事業名		事業概要	事業費（千円）		
			R01決算	R02決算	うち特定財源
1	吉川保育所管理事業	吉川保育所の施設・設備の保守及び修繕	1,802	4,989	1,043
2	吉川保育所施設整備事業	給食展示棚取替、AEDバッテリー交換	0	437	0

3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

施設の維持管理及び施設の修繕・改修等を行い、教育保育環境の維持を図るとともに、施設の安全に資することができた。			
〈主な経費〉			
・空調取替工事	788,700円	・雑排水及びトイレ改修工事	856,713円
・施設修繕（給食室漏水等）	1,061,629円	・施設設備等保守管理委託	116,600円
・施設植木剪定等業務委託	188,829円	・施設設備等清掃委託	423,480円
・給食用展示棚購入	91,500円	・AEDバッテリー交換	254,100円
・ファンヒーター購入	51,000円	・教育用備品購入（滑り台他）	195,500円
・新型コロナウイルス感染症対策 （衛生消耗品等：417,170円、庁用器具：896,449円（加温空気清浄機582,400円、パーティション42,000円、非接触型体温計13,200円等））			

4.課題整理

	課題の有無		課題の内容	要因の特定
	進捗管理	有		
現状の課題	事業内容	有	施設・設備の適正管理	施設・設備の老朽化
	費用対効果	無		
中長期的な課題	進捗管理	有	施設の機能を見据えた施設の改修及び設備の更新	施設・設備の老朽化
	事業内容	無		
	費用対効果	無		

5.総合評価

D	A：各小事業について計画どおりに進めることが必要
	B：小事業について、事業の進め方に改善が必要
	C：小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要
	D：大事業全体の抜本的な見直しが必要

6.改善の方向性

施設の老朽化が進む中、個別施設計画に基づき、施設の劣化状況や状態の変化を把握し、施設の機能維持を見据えた改修等の優先順位、改修内容、実施時期等を定め、改修費用の平準化を図る。

令和2年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名
決算書
教育総務課
167p

大事業名		教育委員会運営事業	款	項	目
			教育費	教育総務費	教育委員会費
総合計画	政策	地域で育て、地域で育つ、人を大切にするまちづくり	関連指標	[総合計画]	
	基本施策	子どもの確かな力を育む教育の充実		[総合戦略]	
	施策	学校教育の充実			
	総合戦略				
	個別計画			[その他]	

1.概要

事業内容	教育委員会会議の開催、学校園所視察訪問、研修等
対象	教育長及び委員
意図・目的	地方教育行政の組織及び運営に関する法律に基づき、豊能町教育行政の推進に資することを目的とする。

2.構成事務事業

小事業名		事業概要	事業費（千円）		
			R01決算	R02決算	うち特定財源
1	教育委員会運営事業	教育委員会会議の開催、教育委員研修等	916	1,111	0

3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

教育委員会会議の開催や学校園所への訪問視察を行うなど、本町の教育行政の推進に資することができた。
・ 定例会の開催：年11回開催
・ 学校園所訪問視察：新型コロナウイルス感染症対策のため中止
・ 委員研修・研究会：新型コロナウイルス感染症対策のため中止
・ 各種行事への出席：新型コロナウイルス感染症対策のため中止
・ 総合教育会議：年1回（8月12日実施）
〈主な経費〉
・ 教育委員会委員報酬 5名 762,500円（委員変更による重複分12,500円含む。）

4.課題整理

	課題の有無		課題の内容	要因の特定
	進捗管理	無		
現状の課題	事業内容	無		
	費用対効果	無		
中長期的な課題	進捗管理	無		
	事業内容	無		
	費用対効果	無		

5.総合評価

A	A：各小事業について計画どおりに進めることが必要
	B：小事業について、事業の進め方に改善が必要
	C：小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要
	D：大事業全体の抜本的な見直しが必要

6.改善の方向性

--

令和2年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名
決算書
教育総務課
167p

大事業名		学校園管理事業	款	項	目
			教育費	教育総務費	事務局費
総合計画	政策	地域で育て、地域で育つ、人を大切にするまちづくり	関連指標	[総合計画]	
	基本施策	子どもの確かな力を育む教育の充実		[総合戦略]	
	施策	学校教育の充実			
	総合戦略				
	個別計画	豊能町学校等施設個別施設計画		[その他]	

1.概要

事業内容	学校園の横断的な管理業務
対象	小中学校、幼稚園、認定こども園
意図・目的	学校園に関する全体的な施設管理、安全対策及び人事管理を行うなど、学校園の円滑な運営を支援することを目的とする。

2.構成事業事業

小事業名		事業概要	事業費（千円）		
			R01決算	R02決算	うち特定財源
1	学校園管理事業	学校園の横断的、総合的、効率的な施設管理及び行事等サポート事務、外国人青年招致、豊能地区人事権移譲事務、教育総務事務等。	7,298	12,505	1,876
2	PCB廃棄物含有分別調査事業	古い蛍光灯の安定器等のPCB含有分別調査	0	367	0
3	学校園個別施設計画策定事業	町立9学校園所、施設それぞれの長期修繕計画を策定	0	3,520	0
4	小中学校図書室除菌機購入事業	新型コロナウイルス感染症対策として、小中学校の図書室に除菌機購入	0	1,423	1,423

3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

〈主な経費〉	
・PCB廃棄物含有分別調査	366,300円
・町立小中学校等個別施設整備計画策定業務	3,520,000円
・小中学校校務支援システム使用料	6,850,008円
・大阪府豊能地区教職員人事協議会負担金	476,000円
・新型コロナウイルス感染症対策 (小中学校図書室除菌機購入：1,422,960円 衛生消耗品：599,623円 読書活動充実事業：598,732円、 非接触型体温計、パルスオキシメーター購入：255,262円、小学校給食猛暑対策補助金：243,792円、 学校給食会臨時休校関係費補助金：190,230円)	

4.課題整理

	課題の有無		課題の内容	要因の特定
	進捗管理	無		
現状の課題	事業内容	有	学校の負担軽減	教職員の業務量の増加 少子化による学校の小規模化
	費用対効果	無		
中長期的な課題	進捗管理	有	学校園所の再編	児童・生徒の減少
	事業内容	有		
	費用対効果	無		

5.総合評価

C	A：各小事業について計画どおりに進めることが必要
	B：小事業について、事業の進め方に改善が必要
	C：小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要
	D：大事業全体の抜本的な見直しが必要

6.改善の方向性

今後の学校園所の再編を見据え、学校園管理事務の整理を行う。

令和2年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名
決算書
教育総務課
169p

大事業名		学校園保健衛生事業	款	項	目
			教育費	教育総務費	事務局費
総合計画	政策	地域で育て、地域で育つ、人を大切にするまちづくり	関連指標	[総合計画]	
	基本施策	子どもの確かな力を育む教育の充実		[総合戦略]	
	施策	学校教育の充実			
	総合戦略				
	個別計画			[その他]	

1.概要

事業内容	学校園の児童生徒及び教職員の健康診断等の実施
対象	園児・児童・生徒・教職員
意図・目的	学校園における児童生徒及び教職員等の健康の保持増進を図るなど、安全・安心な学校園の運営に資することを目的とする。

2.構成事務事業

小事業名		事業概要	事業費（千円）		
			R01決算	R02決算	うち特定財源
1	学校園保健衛生事業	児童・生徒の健診、就学時就園前健診、教職員健診、腸内細菌検査、学校医報酬等	12,736	11,799	412

3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

就学時・就園前健診、学校健診及び教職員健診等を実施するなど、学校園の安全・安心な運営に資することができた。

・就学時・就園前健診：東西地区 各1回実施（11月）
・学校健診：6月～7月実施
・歯みがき指導：新型コロナウイルス感染症予防のため未実施
・脊柱側弯症検診：12月実施
・教職員健診：10月実施

〈主な経費〉

・学校医報酬（その他報酬）	7,825,300円	・薬剤師報酬（その他報酬）	540,000円
・検診補助他報償金	252,000円	・教職員健康診断等委託	1,024,584円
・児童生徒の健康診断等委託	748,472円	・教職員メンタルヘルス相談事業	30,096円 等

4.課題整理

	課題の有無		課題の内容	要因の特定
	進捗管理	無		
現状の課題	事業内容	無		
	費用対効果	無		
中長期的な課題	進捗管理	無		
	事業内容	無		
	費用対効果	無		

5.総合評価

A	A：各小事業について計画どおりに進めることが必要
	B：小事業について、事業の進め方に改善が必要
	C：小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要
	D：大事業全体の抜本的な見直しが必要

6.改善の方向性

令和2年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名
決算書
教育総務課
169p

大事業名	就学援助事業	款	項	目
		教育費	教育総務費	事務局費
総合計画	政策	地域で育て、地域で育つ、人を大切にするまちづくり	関連指標	[総合計画]
	基本施策	子どもの確かな力を育む教育の充実		[総合戦略]
	施策	学校教育の充実		
	総合戦略			[その他]
個別計画				

1.概要

事業内容	経済的理由によって就学困難と認められる児童生徒の保護者に対し、学用品購入等に係る援助を実施する。
対象	小中学校の児童生徒のうち、経済的な理由で就学困難な者
意図・目的	就学が困難な小中学校の児童生徒の就学を支援し、教育の機会均等を図る。

2.構成事務事業

小事業名	事業概要	事業費（千円）		
		R01決算	R02決算	うち特定財源
1 就学援助事業	経済的理由によって就学困難と認められる児童生徒の保護者に対し、学級費や給食費、修学旅行費等を援助費として給付する。	7,483	7,177	20

3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

子どもの就学援助に資することができた。
 〈対象者〉
 新入学学用品費等入学前支給：15名
 令和2年度における就学援助の状況：小学生51名、中学生40名、合計91名
 〈主な経費〉
 ・要保護・準要保護の就学援助（扶助費）：7,177,263円
 内訳：小学生：3,094,599円（新型コロナウイルス感染症臨時支援金20,000円含む）
 中学生：4,082,664円

4.課題整理

	課題の有無	課題の内容	要因の特定
現状の課題	進捗管理	無	
	事業内容	無	
	費用対効果	無	
中長期的な課題	進捗管理	無	
	事業内容	無	
	費用対効果	無	

5.総合評価

A	A：各小事業について計画どおりに進めることが必要
	B：小事業について、事業の進め方に改善が必要
	C：小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要
	D：大事業全体の抜本的な見直しが必要

6.改善の方向性

令和2年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名
決算書
教育総務課
175p

大事業名	事業内容	款	項	目
		教育費	教育総務費	事務局費
総合計画	政策	地域で育て、地域で育つ、人を大切にするまちづくり		
	基本施策	子どもの確かな力を育む教育の充実		
	施策	学校教育の充実		
	総合戦略			
個別計画				

1.概要

事業内容	経済的理由によって就学困難と認められる児童生徒の保護者に対し、学用品購入等に係る援助を実施している就学援助受給世帯に児童生徒1人当たり1万円を給付する。
対象	就学援助受給世帯
意図・目的	就学援助受給世帯に臨時給付を行い、新型コロナウイルス感染症に係る負担を軽減する。

2.構成事務事業

小事業名		事業概要	事業費（千円）		
			R01決算	R02決算	うち特定財源
1	就学援助臨時給付金事業	新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ、経済的理由によって就学困難と認められる児童生徒の保護者に対し、児童生徒1人当たり1万円の臨時給付を行う。	0	890	890

3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

新型コロナウイルス感染症臨時支援金支給人数：91名
・新型コロナウイルス感染症臨時支援金支給（扶助費）：890,000円
（2名分は就学援助事業費より支出）

4.課題整理

	課題の有無		課題の内容	要因の特定
	進捗管理	無		
現状の課題	事業内容	無		
	費用対効果	無		
中長期的な課題	進捗管理	無		
	事業内容	無		
	費用対効果	無		

5.総合評価

A	A：各小事業について計画どおりに進めることが必要
	B：小事業について、事業の進め方に改善が必要
	C：小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要
	D：大事業全体の抜本的な見直しが必要

6.改善の方向性

--

令和2年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名
決算書
教育総務費
175p

大事業名	小中一貫校施設整備事業	款	項	目
		教育費	教育総務費	事務局費
総合計画	政策	地域で育て、地域で育つ、人を大切にするまちづくり	関連指標	[総合計画]
	基本施策	子どもの確かな力を育む教育の充実		[総合戦略]
	施策	信頼される学校づくり		
	総合戦略			[その他]
個別計画		豊能町学校等施設個別施設計画		

1.概要

事業内容	東西地区それぞれに小中一貫校（義務教育学校）を整備する。
対象	小・中学校
意図・目的	本町の小中学校を再編し、小中一貫教育を推進する。

2.構成事務事業

小事業名		事業概要	事業費（千円）		
			R01決算	R02決算	うち特定財源
1	小中一貫校施設整備事業	東西地区それぞれの小中一貫校施設整備に係る基本・実施設計委託業務	0	21,000	21,000

3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

・豊能町立小中一貫校整備に伴う基本設計・実施設計委託業務 契約金額：70,365,040円（うち令和2年度前払い金 21,000,000円） 履行期間：令和2年度から令和4年度
--

4.課題整理

	課題の有無		課題の内容	要因の特定
	進捗管理	無		
現状の課題	事業内容	有	施設整備に係る全体事業費を明らかにする。	保幼小中一貫教育の推進
	費用対効果	無		
中長期的な課題	進捗管理	無	小中一貫校の整備	児童・生徒の減少
	事業内容	有		
	費用対効果	無		

5.総合評価

B	A：各小事業について計画どおりに進めることが必要 B：小事業について、事業の進め方に改善が必要 C：小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要 D：大事業全体の抜本的な見直しが必要
---	---

6.改善の方向性

令和8年4月の義務教育学校開校に向け、東西地区学校再編整備を円滑に進める。

令和2年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名
決算書
教育総務課
175p

大事業名	奨学資金貸与事業	款	項	目
		教育費	教育総務費	奨学費
総合計画	政策	地域で育て、地域で育つ、人を大切にするまちづくり	[総合計画]	
	基本施策	子どもの確かな力を育む教育の充実	[総合戦略]	
	施策	学校教育の充実		
	総合戦略		[その他]	
個別計画				

1.概要

事業内容	経済的理由のために高等学校以上の修学が困難と認められる者に対し、奨学資金を貸与する。
対象	高等学校、大学等に在学する学生
意図・目的	経済的理由のために高等学校以上の修学が困難と認められる者に対し、奨学資金を貸与することにより教育機会の確保を目的とする。

2.構成事務事業

小事業名		事業概要	事業費（千円）		
			R01決算	R02決算	うち特定財源
1	奨学資金貸与事業	奨学資金の貸与 ・高校生 月額 12,000円 ・大学生 月額 25,000円 等	1,500	1,544	1,544

3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

奨学資金を貸与することにより教育機会の確保に資することができた。	
・貸与件数、貸与額	
大学生	5名（内 新規認定1名）
高校生	1名（内 新規認定1名）
計	6名 1,544,000円

4.課題整理

	課題の有無		課題の内容	要因の特定
現状の課題	進捗管理	無		
	事業内容	無		
	費用対効果	無		
中長期的な課題	進捗管理	無	他の奨学金制度との役割の見直し	奨学金申請者の減少 他の奨学金制度の充実・多様化
	事業内容	有		
	費用対効果	無		

5.総合評価

C	A：各小事業について計画どおりに進めることが必要 B：小事業について、事業の進め方に改善が必要 C：小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要 D：大事業全体の抜本的な見直しが必要
---	---

6.改善の方向性

国等の奨学金制度の充実、高等教育の無償化の動向を踏まえ、本町の奨学金制度を見直す。

令和2年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名
決算書
教育総務課
175p

大事業名		款	項	目
		教育費	小学校費	学校管理費
総合計画	政策	地域で育て、地域で育つ、人を大切にするまちづくり		[総合計画]
	基本施策	子どもの確かな力を育む教育の充実		[総合戦略]
	施策	信頼される学校づくり		
	総合戦略			
	個別計画	豊能町学校等施設個別施設計画		[その他]

1.概要

事業内容	町立小学校の施設・設備の整備及び維持管理、小学校給食調理委託等
対象	町立小学校の施設
意図・目的	町立小学校4校の施設の維持管理及び施設の修繕・改修等を行い、教育環境の維持を図るとともに、施設の安全を確保することを目的とする。

2.構成事務事業

小事業名		事業概要	事業費（千円）		
			R01決算	R02決算	うち特定財源
1	小学校管理事業	町立小学校4校の施設・設備の保守及び維持管理等、 小学校給食調理委託	58,201	57,809	0
2	小学校施設整備事業	・光風台小学校他ランチルーム等空調改修工事 ・プールろ過機修繕 ・支障木伐採 ・消防設備修繕 ・コピー機機器更新等	14,184	8,702	3,100
3	新規採択教科書関連図書購入事業	各教科指導書及び教師用教科書の購入	0	8,182	0
4	豊能町立小学校特別教室空調設置工事	豊能町立小学校特別教室空調設置工事	0	48,070	48,070
5	豊能町立小学校給食調理室空調設置工事	豊能町立小学校給食調理室空調設置工事	0	5,819	5,819
6	学校における新型コロナウイルス感染症拡大防止対策事業	学校における新型コロナウイルス感染症拡大防止対策事業（衛生消耗品・備品等購入）	0	7,759	7,758

3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

・施設の維持管理及び施設の修繕・改修を行い、教育環境の維持を図るとともに、施設の安全に資することができた。	
〈主な経費〉	
・小学校給食調理委託業務	44,225,509円
・吉川小学校豪雨災害復旧工事	1,474,000円
・光風台小学校他ランチルーム等空調改修工事	4,257,000円
・光風台小学校階段手摺他整備工事	506,000円
・町立小学校特別教室空調設置工事	48,070,000円
・町立小学校給食調理室空調設置工事	5,819,000円
・新型コロナウイルス感染症拡大防止対策備品購入（門扉遠隔操作表示器、液晶ディスプレイ等）	7,386,786円

4.課題整理

	課題の有無		課題の内容	要因の特定
	進捗管理	有		
現状の課題	事業内容	無	学校施設・設備の適正な維持管理	学校施設・設備の老朽化
	費用対効果	無		
中長期的な課題	進捗管理	有	学校施設の機能を見据えた、学校施設の改修及び設備の更新	学校施設・設備の老朽化
	事業内容	無		
	費用対効果	無		

5.総合評価

D	A：各小事業について計画どおりに進めることが必要
	B：小事業について、事業の進め方に改善が必要
	C：小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要
	D：大事業全体の抜本的な見直しが必要

6.改善の方向性

施設の老朽化が進む中、個別施設計画に基づき、学校施設の劣化状況や状態の変化を把握し、学校施設の機能維持を見据えた改修等の優先順位、改修内容、実施時期等を定め、改修費用の平準化を図る。

令和2年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名
決算書
教育総務課
177p

大事業名	東能勢小学校運営事業	款	項	目
		教育費	小学校費	学校管理費
総合計画	政策	地域で育て、地域で育つ、人を大切にするまちづくり	[総合計画]	
	基本施策	子どもの確かな力を育む教育の充実	[総合戦略]	
	施策	信頼される学校づくり		
	総合戦略		[その他]	
個別計画				

1.概要

事業内容	東能勢小学校の運営
対象	東能勢小学校児童
意図・目的	小学校での授業や行事等の学校活動が円滑に実施できるようにする。

2.構成事業事業

小事業名		事業概要	事業費（千円）		
			R01決算	R02決算	うち特定財源
1	東能勢小学校運営事業	学校運営に関する経費	8,573	8,729	20

3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

東能勢小学校の円滑な運営に資することができた。	在籍児童数（令和2年5月1日現在）		
〈主な行事〉	1学年	1学級	14人
・入学式 6月1日	2学年	1学級	23人
・運動会 感染症拡大予防措置により中止	3学年	1学級	20人
・修学旅行 10月8～9日	4学年	1学級	27人
・遊びの来店 感染症拡大予防措置により中止	5学年	1学級	22人
・ペースランニング 12月3日	6学年	1学級	36人
・卒業式 3月17日	計	6学級	142人

4.課題整理

	課題の有無		課題の内容	要因の特定
現状の課題	進捗管理	無		
	事業内容	無		
	費用対効果	無		
中長期的な課題	進捗管理	無		
	事業内容	無		
	費用対効果	無		

5.総合評価

A	A：各小事業について計画どおりに進めることが必要
	B：小事業について、事業の進め方に改善が必要
	C：小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要
	D：大事業全体の抜本的な見直しが必要

6.改善の方向性

令和2年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名
決算書
教育総務課
179p

大事業名	吉川小学校運営事業	款	項	目
		教育費	小学校費	学校管理費
総合計画	政策	地域で育て、地域で育つ、人を大切にするまちづくり	関連指標	[総合計画]
	基本施策	子どもの確かな力を育む教育の充実		[総合戦略]
	施策	信頼される学校づくり		
	総合戦略			[その他]
個別計画				

1.概要

事業内容	吉川小学校の運営
対象	吉川小学校児童
意図・目的	小学校での授業や行事等の学校活動が円滑に実施できるようにする。

2.構成事務事業

小事業名		事業概要	事業費（千円）		
			R01決算	R02決算	うち特定財源
1	吉川小学校運営事業	学校運営に関する経費	5,943	5,963	20

3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

吉川小学校の円滑な運営に資することができた。	在籍児童数（令和2年5月1日現在）		
〈主な行事〉	1学年	1学級	10人
・入学式 6月1日	2学年	1学級	10人
・運動会 11月5日	3学年	1学級	12人
・修学旅行 10月6～7日	4学年	1学級	16人
・作品展 12月7日～10日	5学年	1学級	14人
・卒業式 3月17日	6学年	1学級	16人
	計	6学級	78人

4.課題整理

	課題の有無	課題の内容	要因の特定
現状の課題	進捗管理	無	
	事業内容	無	
	費用対効果	無	
中長期的な課題	進捗管理	無	
	事業内容	無	
	費用対効果	無	

5.総合評価

A	A：各小事業について計画どおりに進めることが必要
	B：小事業について、事業の進め方に改善が必要
	C：小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要
	D：大事業全体の抜本的な見直しが必要

6.改善の方向性

令和2年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名
決算書
教育総務課
179p

大事業名	光風台小学校運営事業	款	項	目
		教育費	小学校費	学校管理費
総合計画	政策	地域で育て、地域で育つ、人を大切にするまちづくり	関連指標	[総合計画]
	基本施策	子どもの確かな力を育む教育の充実		[総合戦略]
	施策	信頼される学校づくり		
	総合戦略			
	個別計画			[その他]

1.概要

事業内容	光風台小学校の運営
対象	光風台小学校児童
意図・目的	小学校での授業や行事等の学校活動が円滑に実施できるようにする。

2.構成事務事業

小事業名		事業概要	事業費（千円）		
			R01決算	R02決算	うち特定財源
1	光風台小学校運営事業	学校運営に関する経費	14,823	12,104	5

3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

光風台小学校の円滑な運営に資することができた。	在籍児童数（令和2年5月1日現在）		
〈主な行事〉	1学年	1学級	29人
・入学式 6月1日	2学年	1学級	33人
・運動会 10月30日	3学年	1学級	37人
・修学旅行 10月1～2日	4学年	2学級	44人
・学習発表会 11月19日	5学年	1学級	37人
・卒業式 3月17日	6学年	2学級	44人
	計	8学級	224人

4.課題整理

	課題の有無		課題の内容	要因の特定
	進捗管理	無		
現状の課題	事業内容	無		
	費用対効果	無		
中長期的な課題	進捗管理	無		
	事業内容	無		
	費用対効果	無		

5.総合評価

A	A：各小事業について計画どおりに進めることが必要
	B：小事業について、事業の進め方に改善が必要
	C：小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要
	D：大事業全体の抜本的な見直しが必要

6.改善の方向性

令和2年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名
決算審
教育総務課
179p

大事業名		東ときわ台小学校運営事業	款	項	目
			教育費	小学校費	学校管理費
総合計画	政策	地域で育て、地域で育つ、人を大切にするまちづくり		[総合計画]	
	基本施策	子どもの確かな力を育む教育の充実		関連指標	[総合戦略]
	施策	信頼される学校づくり			
	総合戦略				
	個別計画				
				[その他]	

1.概要

事業内容	東ときわ台小学校の運営
対象	東ときわ台小学校児童
意図・目的	小学校での授業や行事等の学校活動が円滑に実施できるようにする。

2.構成事務事業

小事業名		事業概要	事業費（千円）		
			R01決算	R02決算	うち特定財源
1	東ときわ台小学校運営事業	学校運営に関する経費	8,120	6,990	20

3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

東ときわ台小学校の円滑な運営に資することができた。	在籍児童数（令和2年5月1日現在）		
（主な行事）	1学年	1学級	14人
・入学式 6月1日	2学年	1学級	14人
・運動会 10月29日	3学年	1学級	26人
・修学旅行 10月8～9日	4学年	1学級	24人
・学習発表会 11月19・20日	5学年	1学級	24人
・ペースランニング記録会週間 12月6～10日	6学年	1学級	15人
・卒業式 3月17日	計	6学級	117人

4.課題整理

	課題の有無		課題の内容	要因の特定
	進捗管理	無		
現状の課題	事業内容	無		
	費用対効果	無		
中長期的な課題	進捗管理	無		
	事業内容	無		
	費用対効果	無		

5.総合評価

A	A：各小事業について計画どおりに進めることが必要
	B：小事業について、事業の進め方に改善が必要
	C：小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要
	D：大事業全体の抜本的な見直しが必要

6.改善の方向性

令和2年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名
決算書
教育総務課
181p

大事業名	小学校教育振興事業	款	項	目
		教育費	小学校費	教育振興費

総合計画	政策	地域で育て、地域で育つ、人を大切にするまちづくり	関連指標	[総合計画]
	基本施策	子どもの確かな力を育む教育の充実		[総合戦略]
	施策	学校教育の充実		
	総合戦略			
	個別計画			[その他]

1.概要

事業内容	教材備品の整備、情報教育機器の整備
対象	町立小学校
意図・目的	小学校教育課程において必要な備品を整備し、学習環境を整える。

2.構成事務事業

小事業名		事業概要	事業費(千円)		
			R01決算	R02決算	うち特定財源
1	小学校教育振興事業	町立小学校4校で各種授業や課外活動等において使用する補助教材の整備等。	5,522	1,457	0
2	小学校情報機器整備事業	GIGAスクール構想に基づく高速通信ネットワーク及び児童1人1台のタブレットパソコンを整備。	0	56,494	56,494

3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

GIGAスクール構想に基づく校内情報通信ネットワーク及び児童1人1台のタブレットパソコンの整備、小学校教育課程に係る教材備品を整備するなど、学習環境の充実に資することができた。

〈主な経費〉

・GIGAスクール構想に係る整備 （タブレット573台、高速通信ネットワーク整備等）	49,985,401円
・タブレット端末設定業務（業務委託料）	6,509,030円
・教育振興備品購入（教材費）	1,026,467円
・情報機器使用料（機械器具使用料）	430,374円

4.課題整理

	課題の有無		課題の内容	要因の特定
現状の課題	進捗管理	有	タブレット等の機器や、情報通信ネットワークの保守管理	GIGAスクール構想の推進
	事業内容	無		
	費用対効果	有		
中長期的な課題	進捗管理	無	タブレット等の機器の更新	GIGAスクール構想の推進
	事業内容	有		
	費用対効果	有		

5.総合評価

B	A：各小事業について計画どおりに進めることが必要
	B：小事業について、事業の進め方に改善が必要
	C：小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要
	D：大事業全体の抜本的な見直しが必要

6.改善の方向性

国が進めるGIGAスクール構想に基づき、情報教育の推進を図るため、情報機器や情報通信ネットワークの適正管理を進めていく。

令和2年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名
決算書
教育総務課
181p

大 事 業 名		款		項	目
		教育費		中学校費	学校管理費
総 合 計 画	政策	地域で育て、地域で育つ、人を大切にするまちづくり		関 連 指 標	[総合計画]
	基本施策	子どもの確かな力を育む教育の充実			[総合戦略]
	施策	信頼される学校づくり			
	総合戦略				
	個別計画	豊能町学校等施設個別施設計画			[その他]

1.概要

事業内容	町立中学校の施設、設備の整備及び維持管理、中学校給食調理委託等
対象	町立中学校の施設
意図・目的	町立中学校2校の施設の改修、維持管理を行い、教育環境の維持を図るとともに、施設の安全を確保することを目的とする。

2.構成事務事業

小事業名		事業概要	事業費（千円）		
			R01決算	R02決算	うち特定財源
1	中学校管理事業	町立中学校2校の施設・設備の整備及び維持管理等	36,477	35,628	0
2	中学校施設整備事業	・プール修繕（ろ過装置、水槽） ・支障木伐採 ・消防設備修繕 ・電気設備修繕 ・コピー機器更新 等	1,850	7,645	5,126
3	豊能町立中学校特別教室空調設置工事	豊能町立中学校特別教室空調設置工事	0	21,780	21,780
4	学校における新型コロナウイルス感染症拡大防止対策事業	学校における新型コロナウイルス感染症拡大防止対策事業	0	4,000	4,000

3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

・施設の維持管理及び施設の修繕・改修を行い、教育環境の維持を図るとともに、施設の安全に資することができた。	
〈主な経費〉	
・中学校給食調理委託業務	30,096,000円
・吉川中学校トイレ改修工事実施設計（業務委託料）	990,000円
・吉川中学校トイレ改修工事	4,664,000円
・吉川中学校バックネット取替工事	935,000円
・町立中学校特別教室空調設置工事	21,780,000円
・町立小・中学校消防設備修繕業務	1,014,642円
・新型コロナウイルス感染症拡大防止対策備品購入（液晶ディスプレイ、Webカメラ等）	3,821,950円

4.課題整理

	課題の有無		課題の内容	要因の特定
	進捗管理	無		
現状の課題	事業内容	有	・施設・設備の適正管理 ・中学校給食の改善	・施設・設備の老朽化・経年劣化 ・中学校給食のメニューの工夫、食育の取り組み
	費用対効果	無		
中長期的な課題	進捗管理	有	学校施設の機能維持を見据えた、学校施設の改修及び設備の更新	・施設・設備の老朽化・経年劣化
	事業内容	無		
	費用対効果	無		

5.総合評価

D	A：各小事業について計画どおりに進めることが必要
	B：小事業について、事業の進め方に改善が必要
	C：小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要
	D：大事業全体の抜本的な見直しが必要

6.改善の方向性

施設の老朽化が進む中、個別施設計画に基づき、学校施設の劣化状況や状態の変化を把握し、学校施設の機能維持を見据えた改修等の優先順位、改修内容、実施時期等を定め、改修費用の平準化を図る。
給食については、生徒のニーズを踏まえたメニューの工夫や給食会社との交流を行う等、デリバリー給食への理解に努める。

令和2年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名
決算番
教育総務課
183p

大事業名	東能勢中学校運営事業	款	項	目
		教育費	中学校費	学校管理費
総合計画	政策	地域で育て、地域で育つ、人を大切にするまちづくり	関連指標	[総合計画]
	基本施策	子どもの確かな力を育む教育の充実		[総合戦略]
	施策	信頼される学校づくり		
	総合戦略			[その他]
個別計画				

1.概要

事業内容	東能勢中学校の運営
対象	東能勢中学校生徒
意図・目的	中学校での授業や行事等の学校活動が円滑に実施できるようにする。

2.構成事務事業

小事業名		事業概要	事業費（千円）		
			R01決算	R02決算	うち特定財源
1	東能勢中学校運営事業	学校運営に関する経費	7,133	6,536	0

3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

東能勢中学校の円滑な運営に資することができた。			
〈主な行事〉		在籍生徒数（令和2年5月1日現在）	
・入学式	4月7日	1学年	1学級 17人
・修学旅行	10月15日～17日	2学年	1学級 24人
・東能勢フェスタ（展示の部…12月16日～18日）		3学年	1学級 33人
・体育祭	10月1日	計	3学級 74人
・職場体験学習(2年)	10月28日・29日		
・1年生校外学習	10月29日		
・卒業式	3月16日		

4.課題整理

	課題の有無		課題の内容	要因の特定
	進捗管理	無		
現状の課題	事業内容	無		
	費用対効果	無		
中長期的な課題	進捗管理	無		
	事業内容	無		
	費用対効果	無		

5.総合評価

A	A：各小事業について計画どおりに進めることが必要
	B：小事業について、事業の進め方に改善が必要
	C：小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要
	D：大事業全体の抜本的な見直しが必要

6.改善の方向性

令和2年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名
決算書
教育総務課
183p

大事業名	吉川中学校運営事業	款	項	目
		教育費	中学校費	学校管理費
総合計画	政策	地域で育て、地域で育つ、人を大切にするまちづくり	[総合計画]	
	基本施策	子どもの確かな力を育む教育の充実	[総合戦略]	
	施策	信頼される学校づくり		
	総合戦略		[その他]	
個別計画				

1.概要

事業内容	吉川中学校の運営
対象	吉川中学校生徒
意図・目的	中学校での授業や行事等の学校活動が円滑に実施できるようにする。

2.構成事務事業

小事業名		事業概要	事業費（千円）		
			R01決算	R02決算	うち特定財源
1	吉川中学校運営事業	学校運営に関する経費	9,883	8,411	75

3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

吉川中学校の円滑な運営に資することができた。			在籍生徒数（令和2年5月1日現在）		
〈主な行事〉			1学年	2学級	66人
・入学式 4月7日			2学年	3学級	92人
・修学旅行 9月7～9日			3学年	2学級	74人
・合唱発表会（新型コロナウイルス感染症対策により中止）			計	7学級	232人
・体育大会 9月25日					
・卒業式 3月12日					

4.課題整理

	課題の有無		課題の内容	要因の特定
	進捗管理	無		
現状の課題	事業内容	無		
	費用対効果	無		
中長期的な課題	進捗管理	無		
	事業内容	無		
	費用対効果	無		

5.総合評価

A	A：各小事業について計画どおりに進めることが必要
	B：小事業について、事業の進め方に改善が必要
	C：小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要
	D：大事業全体の抜本的な見直しが必要

6.改善の方向性

令和2年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名
決算書
教育総務課
183p

大事業名	中学校教育振興事業	款	項	目
		教育費	中学校費	教育振興費
総合計画	政策	地域で育て、地域で育つ、人を大切にするまちづくり	[総合計画]	
	基本施策	子どもの確かな力を育む教育の充実	[総合戦略]	
	施策	学校教育の充実		
	総合戦略			
	個別計画		[その他]	

1.概要

事業内容	教材備品の整備、情報教育機器の整備
対象	町立中学校
意図・目的	中学校教育課程において必要な備品を整備し、学習環境を整える。

2.構成事務事業

小事業名		事業概要	事業費（千円）		
			R01決算	R02決算	うち特定財源
1	中学校教育振興事業	町立中学校2校で各種授業や課外活動等において使用する補助教材の整備等	9,054	4,718	0
2	中学校情報機器整備事業	GIGAスクール構想に基づく高速通信ネットワーク及び生徒1人1台のタブレットパソコンを整備。	0	31,945	31,945

3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

GIGAスクール構想に基づく校内情報通信ネットワーク及び生徒1人1台のタブレットパソコン、中学校教育課程に係る教材備品を整備するなど、学習環境の充実に資することができた。	
〈主な経費〉	
・GIGAスクール構想に係る整備 （タブレット341台、高速通信ネットワーク整備等）	28,114,599円
・タブレット端末設定業務（業務委託料）	3,830,970円
・教育振興備品購入（教材費）	800,794円
・情報機器の更新に係る機器使用料（機械器具使用料）	3,916,896円

4.課題整理

	課題の有無		課題の内容	要因の特定
現状の課題	進捗管理	有	タブレット等の機器や、情報通信ネットワークの保守管理	GIGAスクール構想の推進
	事業内容	無		
	費用対効果	有		
中長期的な課題	進捗管理	無	タブレット等の機器の更新	GIGAスクール構想の推進
	事業内容	有		
	費用対効果	有		

5.総合評価

B	A：各小事業について計画どおりに進めることが必要
	B：小事業について、事業の進め方に改善が必要
	C：小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要
	D：大事業全体の抜本的な見直しが必要

6.改善の方向性

国が進めるGIGAスクール構想に基づき、情報教育の推進を図るため、情報機器や情報通信ネットワークの適正管理を進めていく。
--

令和2年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名
決算書

教育総務課
185p

大事業名	ひかり幼稚園管理事業	款	項	目
		教育費	幼稚園費	幼稚園管理費
総合計画	政策	地域で育て、地域で育つ、人を大切にするまちづくり	関連指標	[総合計画]
	基本施策	安心して働ける子育て支援の充実		[総合戦略]
	施策	子育て支援環境の充実		
	総合戦略			[その他]
	個別計画	要能町学校等施設個別施設計画		

1.概要

事業内容	ひかり幼稚園の設備・整備の維持管理
対象	ひかり幼稚園の施設
意図・目的	ひかり幼稚園の施設、設備等の整備及び維持管理により、適正な保育環境を確保する。

2.構成事務事業

小事業名		事業概要	事業費（千円）		
			R01決算	R02決算	うち特定財源
1	ひかり幼稚園管理事業	ひかり幼稚園の施設・設備の保守管理及び修繕等	830	1,261	424

3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

施設の維持管理及び施設の修繕・改修を行い、教育環境の維持を図るとともに、施設の安全に資することができた。

〈主な経費〉

- ・施設等修繕 298,375円
- ・施設設備等保守管理委託 53,900円
- ・施設設備等清掃委託 52,800円
- ・機械警備委託 198,000円
- ・教育用備品購入（マット等） 199,185円
- ・新型コロナウイルス感染症対策
（網戸設置工事：108,240円、衛生消耗品等：263,247円、庁用器具：87,395円（非接触型体温計13,200円、扇風機43,340円等））

4.課題整理

	課題の有無		課題の内容	要因の特定
	進捗管理	無		
現状の課題	事業内容	有	施設・設備の適正管理	施設・設備の老朽化・経年劣化
	費用対効果	無		
中長期的な課題	進捗管理	無	施設の修繕・改修や設備の更新	施設・設備の老朽化
	事業内容	有		
	費用対効果	無		

5.総合評価

D	A：各小事業について計画どおりに進めることが必要
	B：小事業について、事業の進め方に改善が必要
	C：小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要
	D：大事業全体の抜本的な見直しが必要

6.改善の方向性

施設の老朽化が進む中、個別施設計画に基づき、施設の劣化状況や状態の変化を把握し、施設の機能維持を見据えた改修等の優先順位、改修内容、実施時期等を定め、改修費用の平準化を図る。

令和2年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名
決算書
教育総務課
187p

大事業名		ふたば園管理事業	款 教育費	項 幼稚園費	目 幼稚園管理費
総合計画	政策	地域で育て、地域で育つ、人を大切にするまちづくり	関連指標	[総合計画]	
	基本施策	安心して働ける子育て支援の充実		[総合戦略]	
	施策	子育て支援環境の充実			
総合戦略				[その他]	
個別計画		豊能町学校等施設個別施設計画			

1.概要

事業内容	ふたば園の設備・整備の維持管理
対象	ふたば園の施設
意図・目的	ふたば園における施設、設備等の整備及び維持管理により、適正な保育環境を確保する。

2.構成事務事業

小事業名		事業概要	事業費（千円）		
			R01決算	R02決算	うち特定財源
1	ふたば園管理事業	ふたば園の施設・設備の保守管理及び修繕等	1,738	2,764	1,098
2	ふたば園施設整備事業	網戸設置、AEDバッテリー交換、冷蔵庫購入	0	555	0

3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

施設の維持管理及び施設の修繕・改修等を行い、教育保育環境の維持を図るとともに、施設の安全に資することができた。			
〈主な経費〉			
・網戸設置工事	220,000円	・施設設備等保守管理委託	283,800円
・施設修繕	441,922円	・施設設備等清掃委託	380,155円
・機械警備委託	389,400円	・冷蔵庫購入	81,180円
・AEDバッテリー交換	254,100円		
・教育用備品購入（プール、三輪車他）	191,339円		
・新型コロナウイルス感染症対策			
（衛生消耗品等：360,774円、庁用器具：611,637円（加湿空気清浄機519,600円、非接触型体温計13,200円等））			

4.課題整理

	課題の有無		課題の内容	要因の特定
	進捗管理	無		
現状の課題	事業内容	有	施設・設備の適正管理	施設・設備の老朽化・経年劣化
	費用対効果	無		
中長期的な課題	進捗管理	無	施設の修繕・改修や設備の更新	施設・設備の老朽化
	事業内容	有		
	費用対効果	無		

5.総合評価

B	A：各小事業について計画どおりに進めることが必要
	B：小事業について、事業の進め方に改善が必要
	C：小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要
	D：大事業全体の抜本的な見直しが必要

6.改善の方向性

施設の老朽化が進む中、個別施設計画に基づき、施設の劣化状況や状態の変化を把握し、施設の機能維持を見据えた改修等の優先順位、改修内容、実施時期等を定め、改修費用の平準化を図る。

令和2年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名
決算書
義務教育課
169p

大事業名		学校教育充実事業	款	項	目
			教育費	教育総務費	事務局費
総合計画	政策	地域で育て、地域で育つ、人を大切にするまちづくり	関連指標	[総合計画]	
	基本施策	子どもの確かな力を育む教育の充実		学校教育が充実していると思う割合 70.0%	
	施策	学校教育の充実		[総合戦略]	
	総合戦略	基本目標2 「住みたくなる」子育て環境をつくる (1) 豊能ならではの教育の付加価値の創造		学校教育が充実していると思う割合 70.0%	
	個別計画	豊能町子ども・子育て支援事業計画		[その他]	

1.概要

事業内容	・教職員研修の充実 ・学校評価の充実
対象	児童・生徒、教職員
意図・目的	・学習指導要領の適切な実施のため、教職員研修等の充実を図る。 ・新学習指導要領の主旨の周知 ・学校評価により学校教育の改善

2.構成事業

小事業名		事業概要	事業費（千円）		
			R01決算	R02決算	うち特定財源
1	学校教育充実事業	・学校教育の充実を図るため、学習指導要領のめざす「生きる力」を育成する指導法の研究や特色ある学校づくりを推進する。 ・学校教育の改善による指導の充実及び地域から信頼される学校づくりを推進する。	460	1,206	0
2	教職員研修充実事業	人事権移譲に伴い、府で実施していた研修の多くを豊能地区と町独自で実施する。府への研修参加は、実績を踏まえ1人1回2000円の負担金の予算措置が必要である。若手教員指導員、課題研究指定校研究支援等、校内研修支援を充実させる。 ・町独自の課題に応じた研修が可能。 ・研修会場への移動時間の短縮が見込める。 ・研修成果や課題のフィードバックが行いやすい。 ・OJTが進む。	748	726	0
3	学力向上事業	公民館を活用し「中学生まなび舎教室」を開き、主体的に学ぶ生徒の支援を行う。町学力向上プランを策定し、授業力向上、授業改善をめざして学校を支援、幼保小中連携を推進するための研究を行う。	3,841	3,227	0
4	子どもの読書活動推進事業	平成25年度から育成している「本のソムリエ」プロジェクトに加え、特に保護者、地域を巻き込んだ啓発のためのイベントや講演会を実施する。児童生徒、保護者の読書意欲の向上を推進する。	2,011	2,438	2,438
5	ことばの力向上推進事業	町立中学校の1～3年生を対象に実用英語技能検定及び小学校4～6年生を対象に日本語能力検定の受験料を年1回の受験時に全額公費負担する。学校の施設を使い、身近に受験できる機会と環境を提供する。	1,174	996	996
6	プログラミング教育推進事業	令和2年度以降、小学校で必修化されるプログラミング教育の推進のため、児童生徒が体験的に学ぶことのできる指導を展開する。また、外国と交流するためにスカイプ機器を使用し、英語教育の一助とする。	2,162	85	0

7	デジタル教材教育事業	令和2・3年度の新学期要領実施内容を踏まえて、授業内容の充実、さらなる工夫改善を目指して、各学校にてデジタル教材を活用する。 タブレット、電子黒板等を利用して、デジタル教材を活用し、よりよい授業づくりに取り組む。	0	228	0
8	社会科副読本推進事業	新学習指導要領改定に伴い、新学習指導要領の目標に沿った教育を推進するため、豊能町立小学校第3・4年生が使用する社会科資料「わたしたちのちのちの 上・下」の改訂版を作成し、令和3年度以降の5年間、3・4年生に配付し、郷土学習の充実を図る。	0	1,145	0
9	スクールカウンセラー活用事業	年間で20回の派遣可能日数を確保し、小学校4校の予約制で時間割を作成し、保護者、児童等のカウンセリング事業を充実させる。	0	800	800
10	こどもの学習支援事業	新型コロナウイルス感染症拡大防止の一環として、各小中学校の児童生徒の学習及び学校生活の支援を保護者及び周辺住民の協力により行う。	0	1,696	1,341
11	家庭学習通信機器整備支援事業	児童生徒一人一人にタブレット端末を配備し、家庭へ持ち帰って家庭学習などを行う際に、各家庭でネットワーク環境が整備されていない場合の対応策として、自治体でモバイルルーターを購入し貸与できるように整備する。	0	783	783
12	遠隔学習機能強化事業	臨時休業等の緊急時に学校と児童生徒の間で、安否確認や授業を行う場合を想定し、学校側が使用するWebカメラやマイク等通信機器の整備を行う。	0	186	186

3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

・新学習指導要領の適切な実施に向け、教職員研修等の充実を図ることができた。
・各校の児童生徒の学力向上を目指し、学校OBを活用した学力向上指導員を配置し、若手教職員への指導助言を行うことで、授業の充実が図れた。
・今年度は4年に1度の教科書採択に伴う社会科副読本の改訂を行い、地域に根差した副読本の制作ができた。
・小学校でも児童や保護者の心のケアが必要となる事案が多くなってきていることを受け、中学校には配置されているスクールカウンセラーを小学校に巡回する形での派遣を行うことができた。
・新型コロナウイルス感染症対策の一環として、子どもの学習支援事業、家庭学習通信機器支援事業及び遠隔学習機能強化事業を、補助事業を活用し実施することができた。

4.課題整理

	課題の有無		課題の内容	要因の特定
	進捗管理	有		
現状の課題	事業内容	有	・GIGAスクール構想に係る町立各小・中学校のICT環境の整備が求められている。	・新型コロナウイルス感染症拡大により、「学びの継続」を確保するため、教育のICT化に向けた整備が当初の計画より前倒しになっている。
	費用対効果	有		
中長期的な課題	進捗管理	有	・GIGAスクール構想に係る町立各小・中学校のICT環境を整備、維持に多大な費用が発生する。	・教育のICT化については、機材の更新や、各種教育に必要なソフトの仕様に係るライセンス料等が毎年度必要となってくる。
	事業内容	有		
	費用対効果	有		

5.総合評価

B	A：各小事業について計画どおりに進めることが必要
	B：小事業について、事業の進め方に改善が必要
	C：小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要
	D：大事業全体の抜本的な見直しが必要

6.改善の方向性

・教育のICT環境の整備のため、教育に係る国の動きを注視し、整備に係る費用に対する補助金の動向などを確認し、適宜予算化して対応を行う。

令和2年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名
決算書
義務教育課
171p

大事業名		学校運営事業	款	項	目
			教育費	教育総務費	事務局費
総合計画	政策	地域で育て、地域で育つ、人を大切にするまちづくり	関連指標	[総合計画]	
	基本施策	子どもの確かな力を育む教育の充実		学校教育が充実していると思う割合 70.0%	
	施策	学校教育の充実		[総合戦略]	
総合戦略	基本目標2 「住みたくなる」子育て環境をつくる (1) 豊能ならではの教育の付加価値の創造			学校教育が充実していると思う割合 70.0%	
個別計画	豊能町子ども・子育て支援事業計画			[その他]	

1.概要

事業内容	・学校(園所)自己診断及び学校協議会等の実施 ・問題解決に向けた具体的な目標・計画の策定と点検 評価
対象	学校(園所) 協議会委員
意図・目的	児童・生徒の課題や保護者・地域のニーズを受け止め学校の教育目標の共有化と学校運営の組織化を図り、信頼される魅力ある学校づくりを推進する。 学校の教育活動その他の学校運営の状況について、学校協議会委員から評価をいただき、学校運営の改善を図る。

2.構成事務事業

小事業名		事業概要	事業費(千円)		
			R01決算	R02決算	うち特定財源
1	学校運営事業	学校は、保護者や地域の信頼に応え、家庭・地域と連携して教育活動を展開する。 学校協議会等により、学校教育自己診断の作成・分析について協議委員会の意見を聞く場を設定する。	240	329	0

3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

・学校運営に関し、学校協議会委員の意見を参考に、学校の取組みの改善や工夫が図れた。 ・コロナ禍において、PTA活動を行い、会員相互の情報共有や連携を図ることができた。
--

4.課題整理

	課題の有無		課題の内容	要因の特定
	進捗管理	有		
現状の課題	事業内容	有	東地区におけるPTA組織の在り方についての整理。	令和4年度より東能勢小学校5、6年生が東能勢中学校で教育を受ける形で、小中一貫教育を行う。
	費用対効果	無		
中長期的な課題	進捗管理	有	義務教育学校の設立に伴う、PTA組織の在り方についての整理。	令和8年度に2小2中の義務教育学校を開校する。
	事業内容	有		
	費用対効果	無		

5.総合評価

B	A：各小事業について計画どおりに進めることが必要 B：小事業について、事業の進め方に改善が必要 C：小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要 D：大事業全体の抜本的な見直しが必要
---	---

6.改善の方向性

・PTA組織の在り方について、保護者の意見をくみ取りながら学校運営協議会準備会の中で熟議等を行う。

令和2年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名
決算審

義務教育課
171p

事業名	人権・地域教育充実事業	款	項	目
		教育費	教育総務費	事務局費
総合計画	政策	地域で育て、地域で育つ、人を大切にするまちづくり		
	基本施策	人権尊重のまちづくりの推進		
	施策	人権尊重意識の高揚		
	総合戦略	基本目標2 「住みたくなる」子育て環境をつくる (1) 豊能ならではの教育の付加価値の創造		
個別計画		豊能町子ども・子育て支援事業計画		

1.概要

事業内容	・地域との協働による学校教育の推進 ・人権教育の推進による一人ひとりを大切にした教育
対象	学校支援コーディネーター、学校等支援員、学校問題対策委員会委員、人権教育研究会
意図・目的	・地域の教育力の向上 ・一人ひとりが輝く教育の充実 ・地域の文化拠点としての学校づくり ・多様化する教育課題(不登校・いじめ等)への対応

2.構成事務事業

小事業名		事業概要	事業費(千円)		
			R01決算	R02決算	うち特定財源
1	人権・地域教育充実事業	・地域の文化拠点としての学校づくりを推進し、地域の教育力による学校の教育の活性化 ・人権教育推進のための研修を充実させ、一人ひとりが輝く教育の推進、充実を図る。	537	130	0
2	教育コミュニティづくり推進事業	地域住民等の参画による学校支援活動を充実させ、学校教育の充実を図るとともに、地域の教育力の向上を目指す。学校と地域の連携が促進され、「地域に開かれた学校づくり」を推進する。	1,218	1,246	696
3	地域ぐるみの学校安全体制整備推進事業	警察や学校OBをスクールガード・リーダーとして委託する。スクールガード・リーダーは、各小学校区を定期的に巡回し、警備のポイントや改善すべき点などの指導と評価、安全見守り隊(地域ボランティア)に対する指導等を行う。	413	459	306
4	いじめ問題等対策推進事業	いじめの未然防止及びいじめ発生時の対策のための行政としての責務を遂行する。未然防止のために学校等支援指導員を配置、教育問題等調査及び支援対象委員会を立ち上げ、重大事案発生時にも備える。	1,871	1,991	1,991

3.主な成果(実績や事業の状況、意図・目的の達成度)

・人権教育の理念を持ち、自分や相手も大切にする教育・保育活動を進めることができた。
・いじめ問題等に関わる初動体制や保護者への対応について専門家のかかわりが増えている。

4.課題整理

	課題の有無		課題の内容	要因の特定
	進捗管理	無		
現状の課題	事業内容	有	・事案に対する専門家の関わりが増加傾向にあり、専門家(専門職)等に対する予算も増加している。	・学校で生じる各種案件の多様化。
	費用対効果	無		
中長期的な課題	進捗管理	無		
	事業内容	無		
	費用対効果	無		

5.総合評価

B	A:各小事業について計画どおりに進めることが必要
	B:小事業について、事業の進め方に改善が必要
	C:小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要
	D:大事業全体の抜本的な見直しが必要

6.改善の方向性

・本事業の取組内容が多様多様となり、専門性が問われることが多く、専門職等の関わりが必要となることが多くなっていることから、予算の増額が必要であるとともに、活用方法も検討する必要がある。
--

令和2年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名		決算書		義務教育課	
大事業名		教育費		事務局費	
児童生徒健全育成充実事業		教育費		事務局費	
総合計画	政策	地域で育て、地域で育つ、人を大切にするまちづくり		[総合計画]	
	基本施策	子どもの確かな力を育む教育の充実		学校教育が充実していると思う割合 70.0%	
	施策	青少年の健全育成		[総合戦略]	
	総合戦略	基本目標2 「住みたくなる」子育て環境をつくる (1) 豊能ならではの教育の付加価値の創造		学校教育が充実していると思う割合 70.0%	
個別計画		豊能町子ども・子育て支援事業計画		[その他]	

1.概要

事業内容	個別の教育支援計画に基づき個別の指導計画を作成し、一人ひとりのニーズに応じた授業を行う。
対象	支援教育専門家（個別の支援が必要な児童生徒の指導）
意図・目的	すべての障がいのある児童・生徒の社会参加と自立を目指し「ともに学び、ともに育つ」教育の一層の継承・発展を図る。

2.構成事務事業

小事業名		事業概要		事業費（千円）		
				R01決算	R02決算	うち特定財源
1	児童生徒健全育成充実事業	支援学級等に在籍する児童・生徒に対して、専門分野の講師を招いて巡回相談を実施。 児童生徒だけではなく、先生方にも指導を行い、個々に応じた支援を充実させる。		930	901	0

3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

・支援教育担当の教職員を中心に、配慮を要する児童生徒の状況把握や、必要な支援体制の構築を図ることができた。
・配慮を要する児童生徒に対し、専門家（作業療法士（OT）、言語聴覚士（PT）、言語聴覚士（ST））による巡回相談の実施により、支援の充実が図れた。

4.課題整理

課題の有無		課題の内容		要因の特定	
現状の課題	進捗管理	無			
	事業内容	無			
	費用対効果	無			
中長期的な課題	進捗管理	無			
	事業内容	無			
	費用対効果	無			

5.総合評価

A	A：各小事業について計画どおりに進めることが必要 B：小事業について、事業の進め方に改善が必要 C：小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要 D：大事業全体の抜本的な見直しが必要
---	---

6.改善の方向性

--

令和2年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名
決算書

義務教育課
173p

大事業名	保幼小中一貫教育推進事業	款	項	目
		教育費	教育総務費	事務局費

総合計画	政策	地域で育て、地域で育つ、人を大切にするまちづくり	関連指標	[総合計画]
	基本施策	子どもの確かな力を育む教育の充実		学校教育が充実していると思う割合 70.0%
	施策	学校教育の充実		[総合戦略]
総合戦略	基本目標2 「住みたくなる」子育て環境をつくる (1) 豊能ならではの教育の付加価値の創造			学校教育が充実していると思う割合 70.0%
個別計画	豊能町子ども・子育て支援事業計画			[その他]

1.概要

事業内容	保幼小中一貫教育の推進
対象	学校、保護者、地域住民等
意図・目的	保幼小中一貫教育推進室が新しく発足される。豊能町の保幼小中一貫教育の方向性に則って、企画、運営、準備等を行い、さらなる保幼小中一貫教育を推進する。

2.構成事務事業

小事業名		事業概要	事業費（千円）		
			R01決算	R02決算	うち特定財源
1	保幼小中一貫教育推進事業	保幼小中一貫教育推進のため、講師招聘研修や他府県、他市町村の保幼小中一貫教育等の視察を行う。また、コミュニティ・スクールの準備を進めるために、地域の方々と話し合いを行い、よりよい組織を構築していく。	0	839	0

3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

- ・コロナ禍において集合研修等を行うのは難しい状況下で、Webによる研修会等に切り替え、保幼小中一貫教育に向けた学習により方向性や必要性を周知することができた。
- ・小中一貫校設立に向けた学校運営協議会（コミュニティスクール）の準備会を立ち上げることができた。

4.課題整理

	課題の有無	課題の内容	要因の特定
現状の課題	進捗管理	無	
	事業内容	無	
	費用対効果	無	
中長期的な課題	進捗管理	有	・義務教育学校設立に向けた具体的な準備や周知が十分にできるよう、体制の整備や予算措置が必要である。 ・具体的な整備に伴う体制づくりと予算措置
	事業内容	有	
	費用対効果	有	

5.総合評価

B	A：各小事業について計画どおりに進めることが必要 B：小事業について、事業の進め方に改善が必要 C：小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要 D：大事業全体の抜本的な見直しが必要
----------	---

6.改善の方向性

- ・本事業を進めていく上で、保護者・地域住民・教職員への周知や、先進地への視察により知識を深めることで、具現化することができるので、今後も事業を継続していく必要がある。

令和2年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名
決算書こども育成課
119p

大事業名	吉川保育所運営事業	款	項	目
		民生費	児童福祉費	児童福祉施設費

総合計画	政策	地域で育て、地域で育つ、人を大切にするまちづくり	関連指標	[総合計画]
	基本施策	安心して働ける子育て支援の充実		[総合戦略]
	施策	子育て支援環境の充実		
	総合戦略	基本目標2 「住みたくなる」子育て環境をつくる (3) 子育てしながら働きやすい環境の整備		[その他]
	個別計画	豊能町子ども・子育て支援事業計画		

1.概要

事業内容	吉川保育所における保育の実施
対象	吉川保育所 在籍児童
意図・目的	児童が健康で安全な生活ができ、集団生活に適應できるよう心身の発達を図る。

2.構成事業

小事業名		事業概要	事業費(千円)		
			R01決算	R02決算	うち特定財源
1	吉川保育所運営事業	吉川保育所の運営に関する経費	29,565	32,504	3,872

3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

・安全点検と環境整備を行い、保育所機能の向上に努め児童の健全育成に資することができた。 ・児童（2号・3号保育）の在籍状況（令和2年度末現在） 0歳児 6人、1歳児 17人、2歳児 22人、3歳児 17人、4歳児 20人、5歳児 21人 計 103人 〈主な経費〉 ・給食調理委託業務 13,566,600円、労働者（保育士）派遣業務 2,306,103円 〈主な行事〉 ・入所式4月2日、運動会10月2日、デイキャンプ7月17日、修了式3月13日

4.課題整理

	課題の有無		課題の内容	要因の特定
現状の課題	進捗管理	無		
	事業内容	無		
	費用対効果	無		
中長期的な課題	進捗管理	無		
	事業内容	無		
	費用対効果	無		

5.総合評価

A	A：各小事業について計画どおりに進めることが必要
	B：小事業について、事業の進め方に改善が必要
	C：小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要
	D：大事業全体の抜本的な見直しが必要

6.改善の方向性

令和2年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名
決算書
こども育成課
123p

大事業名		款	項	目
留守家庭児童育成室管理事業		民生費	児童福祉費	育成室運営費
総合計画	政策	地域で育て、地域で育つ、人を大切にするまちづくり		
	基本施策	安心して働ける子育て支援の充実		
	施策	子育て支援環境の充実		
	総合戦略	基本目標2 「住みたくなる」子育て環境をつくる (3) 子育てしながら働きやすい環境の整備		
個別計画		豊能町子ども・子育て支援事業計画		

1.概要

事業内容	留守家庭児童の居場所を確保し、適切な保育を実施する。
対象	留守家庭の小学生
意図・目的	保護者の就労等により、放課後に留守家庭となる小学校1年生から6年生の児童について健全な育成を図ることを目的とする。

2.構成事務事業

小事業名		事業概要	事業費(千円)		
			R01決算	R02決算	うち特定財源
1	留守家庭児童育成室管理事業	留守家庭児童育成室も運営に関する経費 (東能勢育成室、光風台育成室、東ときわ台育成室)	1,522	2,107	716

3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

- ・保護者の就業等により昼間家庭にいない児童を対象に授業が終わった後の遊びや生活の場を提供し、児童の健全な育成を図ることができた。
- ・児童の在籍状況（令和2年度末現在）

区分	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	計
東能勢育成室	6	1	4	0	2	1	14
光風台育成室	6	7	8	6	3	2	32
東ときわ台育成室	7	10	3	7	0	0	27
計	19	18	15	13	5	3	73

〈主な経費〉施設修繕 213,334円、光熱水料費 536,121円、東と小育成室送迎委託 333,096円ほか

4.課題整理

	課題の有無		課題の内容	要因の特定
	進捗管理	無		
現状の課題	事業内容	無		
	費用対効果	無		
中長期的な課題	進捗管理	無		
	事業内容	無		
	費用対効果	無		

5.総合評価

A	A：各小事業について計画どおりに進めることが必要
	B：小事業について、事業の進め方に改善が必要
	C：小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要
	D：大事業全体の抜本的な見直しが必要

6.改善の方向性

令和2年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名
決算書
こども育成課
173p

大事業名	幼児教育・保育の充実事業	款	項	目
		教育費	教育総務費	事務局費
総合計画	政策	地域で育て、地域で育つ、人を大切にするまちづくり	関連指標	[総合計画] 安心して子どもを産み育てやすい町だと思割合70% [総合戦略] 安心して子どもを産み育てやすい町だと思割合70% [その他]
	基本施策	子どもの確かな力を育む教育の充実		
	施策	幼児教育の推進		
	総合戦略	基本目標2 「住みたくなる」子育て環境をつくる (2) 豊能での子育てをかなえるためのサポートの充実		
個別計画		豊能町子ども・子育て支援事業計画		

1.概要

事業内容	子どもを取り巻く社会状況を踏まえ、研究保育・研修を深め、子どもの発達に即した保育・教育を行う。
対象	保育所・幼稚園・こども園の教職員
意図・目的	保育・教育の質の向上

2.構成事務事業

小事業名		事業概要	事業費（千円）		
			R01決算	R02決算	うち特定財源
1	幼児教育・保育の充実事業	特色ある豊能町の就学前保育・教育の充実のため、保育士・教職員の保育・教育力の向上を推進する。	320	274	274

3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

・研究指定制度を設け、研究保育に基づく学識経験者の指導を受け、主体的に研究活動に取り組み、各園所において子どもが直接体験する活動やまとめとして研究保育を行った。（研究保育：32回）
・子どもの主体的な学びにつながる保育実現をねらいとし、室内の環境による所園内研の体制整備を図り、学力向上指導員や幼児教育アドバイザーを活用し、主体的に実施した。（所園内研修：17回）

4.課題整理

	課題の有無		課題の内容	要因の特定
	進捗管理	無		
現状の課題	事業内容	有	・運動カリキュラムの検証 ・保幼小中一貫教育の接続カリキュラムの研究・作成 ・所園内研修におけるマネジメント	・保幼小中一貫教育の連携 ・教育課程や指導の改善
	費用対効果	無		
中長期的な課題	進捗管理	有	・保幼小中一貫教育の接続カリキュラムの研究・作成	・保幼小中一貫教育の連携 ・教育課程や指導の改善
	事業内容	有	・所園内研修のカリキュラムマネジメントの構築	
	費用対効果	無		

5.総合評価

B	A：各小事業について計画どおりに進めることが必要
	B：小事業について、事業の進め方に改善が必要
	C：小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要
	D：大事業全体の抜本的な見直しが必要

6.改善の方向性

・学力指導員や幼児教育アドバイザーを活用し、教職員の資質向上を図る。
・学校開校準備委員会にて体制を整え、計画的に実施する。
・各所属の研修保育の充実を図り、保護者や地域への情報提供に取り組む。

令和2年度事業評価（主要施策成果報告）シート

大事業名	子育て支援環境の充実事業 (こども育成課)	款	項	目
		教育費	教育総務費	事務局費

総合計画	政策	地域で育て、地域で育つ、人を大切にすまちづくり	関連指標	[総合計画]
	基本施策	安心して働ける子育て支援の充実		安心して子どもを産み育てやすい町だと思割合70%
	施策	子育て支援環境の充実		[総合戦略]
	総合戦略	基本目標2 「住みたくなる」子育て環境をつくる (2) 豊能での子育てをかなえるためのサポートの充実		安心して子どもを産み育てやすい町だと思割合70%
個別計画		豊能町子ども・子育て支援事業計画	[その他]	

1.概要

事業内容	子どもと子育て家庭を取り巻く現状を把握し、「子どもを安心して育てる」ためのサポート、「子どもを産み育てる魅力ある施策」を推進する。
対象	地域住民・児童生徒とその保護者
意図・目的	子育ての不安解消、育児負担の軽減、親子の基本信頼関係の構築、キャリア教育（産み育てる次世代の若者育成）

2.構成事務事業

小事業名		事業概要	事業費（千円）		
			R01決算	R02決算	うち特定財源
1	児童虐待防止対策事業	児童虐待防止の社会をめざし児童虐待防止対策の取組を強化する。 児童の安全確認のための体制整備を構築するとともに養育困難な家庭に対して養育支援訪問等を行う。	614	621	621
2	障がいのある児童・生徒へのサポート相談事業	発達障がいのある児童生徒に関する専門的知識・経験を有する巡回相談員を定期的に派遣し、指導内容や支援方法について助言を受けるなど特別支援教育の推進を図る。	1,377	1,456	1,456
3	放課後児童クラブ地域連携充実事業	放課後に子どもたちの適切なあそびや生活の場を確保し、小学校の余裕教室等を活用して、地域の方々の参画を得ながら、学習やスポーツ・文化活動、地域住民との交流活動等の取組みを実施する。	901	844	844

3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

- ・コロナ禍のため制限を受けた事業もあった。
- ・臨床心理士が子育て世帯を対象に相談を実施し、解決方法や対処方法のアドバイスや助言により相談者が具体的な解決方法を見出したり、養育支援訪問を実施することで、子育てに対する不安や負担の軽減となった。（心の相談：18件・養育支援訪問：なし）
- ・専門知識を有する巡回相談員を学校園所に派遣し、発達障がいを含む障害のある児童生徒に対する指導内容や支援の方法について助言を受け、一人ひとりのニーズに応じた支援を行った。（巡回相談：53回）
- ・小学校の隣り合った教室を活用することで、放課後児童クラブと放課後子ども教室が連携でき、多様な学習、体験活動、交流を実施することができた。（12回）

4.課題整理

	課題の有無		課題の内容	要因の特定
	進捗管理	無		
現状の課題	事業内容	有	・親子で集える場所づくり ・放課後子ども教室の体制 ・地域の人材の確保	・出生数の減少 ・学校支援サポーターの減少
	費用対効果	有		
中長期的な課題	進捗管理	無	・人員の確保 ・場所の確保	・出生数の減少 ・学校支援サポーターの減少
	事業内容	有		
	費用対効果	無		

5.総合評価

B	A：各小事業について計画どおりに進めることが必要
	B：小事業について、事業の進め方に改善が必要
	C：小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要
	D：大事業全体の抜本的な見直しが必要

6.改善の方向性

- ・地域や関係機関が主体的に取り組んでいくことができる組織・体制づくりを行う。

令和2年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名
決算書
こども育成課
173p

大事業名	子ども・子育て支援事業	款	項	目
		教育費	教育総務費	事務局費

総合計画	政策	地域で育て、地域で育つ、人を大切にするまちづくり	関連指標	[総合計画]
	基本施策	安心して働ける子育て支援の充実		安心して子どもを産み育てやすい町だと思う割合70%
	施策	子育て支援環境の充実		[総合戦略]
	総合戦略	基本目標2 「住みたくなる」子育て環境をつくる (2) 豊能での子育てをかなえるためのサポートの充実		安心して子どもを産み育てやすい町だと思う割合70%
個別計画		豊能町子ども・子育て支援事業計画	[その他]	

1.概要

事業内容	幼稚園、保育所、認定こども園の保育認定及び保育給付、豊能町子ども・子育て支援事業計画の進行管理を行う。
対象	就学前の子ども
意図・目的	子ども・子育て支援法等に基づき、幼児期の教育・保育や地域における多様な子ども・子育て支援の充実を図り、子どもの健やかな成長に寄与することを目的とする。

2.構成事務事業

小事業名		事業概要	事業費（千円）		
			R01決算	R02決算	うち特定財源
1	子ども・子育て支援事業	子ども・子育て支援給付事務、豊能町子ども・子育て審議会の運営 豊能町子ども・子育て支援事業計画の進行管理等	10,906	15,860	9,143
2	保育無償化事務事業	幼児教育・保育の無償化に伴う事務	1,373	251	251

3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

・教育、保育給付等を円滑に実施した。 ・幼児教育・保育無償化の実施。
（主な経費） ・教育・保育給付費負担金 13,100,990円、償還金2,528,551円 ・豊能町子ども・子育て審議会委員報酬（7名分）49,000円

4.課題整理

	課題の有無		課題の内容	要因の特定
	進捗管理	無		
現状の課題	事業内容	無		
	費用対効果	無		
中長期的な課題	進捗管理	無		
	事業内容	無		
	費用対効果	無		

5.総合評価

A	A：各小事業について計画どおりに進めることが必要 B：小事業について、事業の進め方に改善が必要 C：小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要 D：大事業全体の抜本的な見直しが必要
---	---

6.改善の方向性

--

令和2年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名
決算書
こども育成課
187p

大事業名	ひかり幼稚園運営事業	款	項	目
		教育費	幼稚園費	幼稚園管理費
総合計画	政策	地域で育て、地域で育つ、人を大切にするまちづくり		
	基本施策	安心して働ける子育て支援の充実		
	施策	子育て支援環境の充実		
	総合戦略	基本目標2 「住みたくなる」子育て環境をつくる (3) 子育てしながら働きやすい環境の整備		
個別計画		豊能町子ども・子育て支援事業計画		

1.概要

事業内容	ひかり幼稚園における教育・保育の実施
対象	ひかり幼稚園 園児
意図・目的	教育課程を作成し、それに基づき、教育目標を達成するため年齢に応じた適切な教育内容、教育環境を整え教育活動を行うことを目的とする。

2.構成事業

小事業名		事業概要	事業費（千円）		
			R01決算	R02決算	うち特定財源
1	ひかり幼稚園運営事業	ひかり幼稚園の運営に関する経費	3,140	2,656	813

3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

・幼稚園での教育や行事等の園の活動を円滑に実施することができた。
・園児（1号教育）の在籍状況（令和2年度末） 3歳児 32人、4歳児 32人、5歳児 37人 計 101人 （主な行事）
・入園式 4月10日、デイキャンプ 7月31日、運動会 10月11日、小学校体験入学 3月5、8、10日、卒園式 3月13日

4.課題整理

	課題の有無		課題の内容	要因の特定
	現状の課題			
現状の課題	進捗管理	無		
	事業内容	無		
	費用対効果	無		
中長期的な課題	進捗管理	無		
	事業内容	無		
	費用対効果	無		

5.総合評価

A	A：各小事業について計画どおりに進めることが必要
	B：小事業について、事業の進め方に改善が必要
	C：小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要
	D：大事業全体の抜本的な見直しが必要

6.改善の方向性

--

令和2年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名
決算書
こども育成課
187p

大事業名	ふたば園運営事業	款	項	目
		教育費	幼稚園費	幼稚園管理費
総合計画	政策	地域で育て、地域で育つ、人を大切にするまちづくり	関連指標	[総合計画]
	基本施策	安心して働ける子育て支援の充実		[総合戦略]
	施策	子育て支援環境の充実		
	総合戦略	基本目標2 「住みたくなる」子育て環境をつくる (3) 子育てしながら働きやすい環境の整備		[その他]
個別計画		豊能町子ども・子育て支援事業計画		

1.概要

事業内容	ふたば園における教育・保育の実施
対象	ふたば園 園児
意図・目的	園児が健全で安全な生活ができ、集団生活に対応できるよう心身の発達を図る。

2.構成事務事業

小事業名		事業概要	事業費(千円)		
			R01決算	R02決算	うち特定財源
1	ふたば園運営事業	ふたば園の運営に関する経費	26,232	26,558	2,523

3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

・園児が健康で安全な生活ができ、集団生活に適応できるよう心身の発達を図ることができた。
・園児の在籍状況（令和2年度末現在） 1号(教育)： 3歳児 0人、4歳児 7人、5歳児 7人、計 14人 2・3号(保育)： 0歳児 5人、1歳児 3人、2歳児 12人、3歳児 10人、4歳児 9人、5歳児 14人、計 53人 合計 67人 〈主な経費〉 ・給食調理委託業務等 13,504,000円 〈主な行事〉 ・入園式4月10日、運動会10月3日、卒園式3月13日

4.課題整理

	課題の有無		課題の内容	要因の特定
	進捗管理	無		
現状の課題	事業内容	無		
	費用対効果	無		
中長期的な課題	進捗管理	無		
	事業内容	無		
	費用対効果	有		

5.総合評価

A	A：各小事業について計画どおりに進めることが必要
	B：小事業について、事業の進め方に改善が必要
	C：小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要
	D：大事業全体の抜本的な見直しが必要

6.改善の方向性

--

令和2年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名
決算書
生涯学習課
189p

大事業名	生涯学習推進事業	款	項	目
		教育費	社会教育費	社会教育総務費
総合計画	政策	地域で育て、地域で育つ、人を大切にするまちづくり		
	基本施策	地域で学ぶ生涯学習環境の充実		
	施策	生涯学習の推進		
	総合戦略			
個別計画		豊能町教育大綱（R2.1改定）		

1.概要

事業内容	町民の主体的な生涯学習活動を支援するとともに、多彩な生涯学習活動の機会を提供し、学習活動を推進する。
対象	住民、各種社会教育関係団体。
意図・目的	地域における社会教育・生涯学習の推進を図る。

2.構成事務事業

小事業名		事業概要	事業費（千円）		
			R01決算	R02決算	うち特定財源
1	生涯学習推進事業	町民の主体的な生涯学習活動を支援するとともに、地域における社会教育、生涯学習の普及に係る事業を企画・実施する。	852	1,312	53

3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

○社会教育関係団体等及び公民館使用団体の登録を行い、団体への支援を行うとともに、団体の活動内容を紹介した冊子を作成し、これから活動を始めたいと考えている方への情報提供を行った。
○新型コロナウイルスの影響で、高齢者を対象とした「ウグイス大学」はすべて中止となった。
○同様に、実行委員会による文化展は新型コロナウイルスの影響で中止となったが、活動紹介書の掲示を行った。（63団体（公民館活動団体・ボランティア青少年育成団体・文化展出展団体））

4.課題整理

	課題の有無		課題の内容	要因の特定
	進捗管理	無	・自主的取組み組織の委員固定化 ・社会教育関係団体、公民館利用団体の活動は活発であるが、後継者不足や世代の新陳代謝が進んでいない団体が多い。	・後継者不足 ・趣味趣向や社会参加の場の多様化
現状の課題	事業内容	有		
	費用対効果	無		
中長期的な課題	進捗管理	無	・学校教育との連携が十分に行われてはいない。	・学校教育（小・中学校）と社会教育（生涯学習課）との課題の共通認識が十分でない。
	事業内容	有		
	費用対効果	無		

5.総合評価

B	A：各小事業について計画どおりに進めることが必要
	B：小事業について、事業の進め方に改善が必要
	C：小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要
	D：大事業全体の抜本的な見直しが必要

6.改善の方向性

○ウグイス大学や文化展は、運営委員会や実行委員会により自主的に取り組んでいるが、委員の高齢化に伴い、次代の担い手不足が懸念される。特にウグイス大学は、講座内容のマンネリ化を招かないようにする必要がある。
○社会教育関係団体や公民館利用団体間の自主的活動の推進を図るとともに、団体への情報提供・支援を行う。
○学校教育と課題の共通認識を図り連携を進めていく。
○公共施設再編検討委員会の答申内容等を踏まえ、適宜社会教育委員等の意見を聞きながら今後の生涯学習の推進について検討する。

令和2年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名
決算書
生涯学習課
191p

大事業名		青少年健全育成事業	款	項	目
			教育費	社会教育費	青少年対策費
総合計画	政策	地域で育て、地域で育つ、人を大切にするまちづくり	関連指標	[総合計画]	
	基本施策	子どもの確かな力を育む教育の充実		[総合戦略]	
	施策	青少年の健全育成			
	総合戦略				
	個別計画	豊能町教育大綱（R2.1改定）		[その他]	

1.概要

事業内容	生涯学習課による青少年の健全育成を目指した事業等の取り組み。
	青少年指導員を中心とした青少年健全育成を目指した事業等の取り組み。
対象	町在住の青少年
意図・目的	町在住の青少年を対象とした事業を実施し、青少年の健全育成を図る。

2.構成事務事業

小事業名		事業概要	事業費（千円）		
			R01決算	R02決算	うち特定財源
1	青少年健全育成事業	青少年の健全育成を目指した事業等の取組 青少年指導員を中心とした青少年健全育成を目指した事業等の取組	2,194	1,864	16
2	音楽ふれあい事業	オオサカンによる親子向け対象の演奏会を実施する。	1,000	1,000	1,000

3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

○はたちのつどい(127名参加)
○森と遊ぼう！！（75名参加）
○町連合こども会主催事業（ドッチビー大会）
○音楽ふれあい事業（無料招待 夏休み親子ふれあいコンサート217名 クリスマスコンサートは無料配信）

4.課題整理

	課題の有無		課題の内容	要因の特定
	進捗管理	無		
現状の課題	事業内容	有	事業に参加する青少年の固定化	児童の減少と共に生活環境も多様化し、参加する時間の確保が難しくなっている。
	費用対効果	無		
中長期的な課題	進捗管理	無	子ども会の存続	少子化による児童数の減少と新たな転入等による児童の増加が見込めない。
	事業内容	有		
	費用対効果	無		

5.総合評価

B	A：各小事業について計画どおりに進めることが必要
	B：小事業について、事業の進め方に改善が必要
	C：小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要
	D：大事業全体の抜本的な見直しが必要

6.改善の方向性

○今後見込まれる青少年の人口減少に見合う事業と特色ある内容を検討する。
○青少年の体験型事業などを提供し、魅力ある事業を検討する。

令和2年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名
決算書
生涯学習課
193p

大事業名	西公民館管理事業	款	項	目
		教育費	社会教育費	公民館費
総合計画	政策	地域で育て、地域で育つ、人を大切にするまちづくり		
	基本施策	地域で学ぶ生涯学習環境の充実		
	施策	生涯学習の推進		
	総合戦略	基本目標4 避けることができない未来にそなえる (3) 社会資本・都市機能等のマネジメント		
個別計画		豊能町生涯学習施設個別施設（長寿命化）計画		

1.概要

事業内容	西公民館の適正及び効率的・効果的な保守管理
対象	利用者
意図・目的	西地区の生涯学習施設の拠点として、住民の教養の向上、健康の増進等を図り、生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与するとともに、公民館の利用促進、社会教育の発展充実を図ることを目的とする。

2.構成事務事業

小事業名		事業概要	事業費（千円）		
			R01決算	R02決算	うち特定財源
1	西公民館管理事業	生涯学習施設(西公民館)の適正かつ効率的・効果的な維持管理及び住民活動の場を提供する。	9,339	7,956	1,568
2	西公民館改修事業	生涯学習施設(西公民館)の適正かつ効率的・効果的な維持管理及び住民活動の場を提供する。	3,080	28,033	24,128
3	西公民館トイレ改修事業	手洗い場自動水栓の設置	0	528	528

3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

○西地区の生涯学習施設の拠点としての管理と運営に努めた。
○西公民館内のエレベーター、キュービクル、モジュールチラーの大規模改修工事を行った。
○令和2年度 ・開館日数226日 ・利用件数：2,445件 ・利用者数：24,147人
*新型コロナウイルス感染予防による緊急事態宣言等により、全日又は一部時間帯において臨時休館を実施

4.課題整理

	課題の有無		課題の内容	要因の特定
	進捗管理	有		
現状の課題	事業内容	有	・施設全体の補修、修繕、設備の入替や更新等	・施設の経年劣化と定期的な補修、修繕、計画的な財政措置
	費用対効果	有		
中長期的な課題	進捗管理	有	・計画的な施設・設備の補修と更新 ・施設の運営形態の検討 ・持続可能な生涯学習の場の確保	・財政状況の悪化 ・公共施設再編検討委員会による答申
	事業内容	有		
	費用対効果	有		

5.総合評価

D	A：各小事業について計画どおりに進めることが必要 B：小事業について、事業の進め方に改善が必要 C：小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要 D：大事業全体の抜本的な見直しが必要
---	---

6.改善の方向性

○引き続き修繕・改修・更新を行い、安全な環境整備を目指し改善に取り組む。
○公共施設再編検討委員会の答申内容等を踏まえ、社会教育委員や利用者の声による意見を参考に、円滑な施設管理や運営のあり方を検討する。

令和2年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名
決算書生涯学習課
193p

大事業名	中央公民館管理事業	款	項	目
		教育費	社会教育費	公民館費

総合計画	政策	地域で育て、地域で育つ、人を大切にするまちづくり	関連指標	[総合計画]
	基本施策	地域で学ぶ生涯学習環境の充実		[総合戦略]
	施策	生涯学習の推進		
	総合戦略	基本目標4 避けることができない未来にそなえる (3) 社会資本・都市機能等のマネジメント		[その他]
個別計画		豊能町生涯学習施設個別施設（長寿命化）計画		

1.概要

事業内容	中央公民館の適正及び効率的・効果的な保守管理
対象	利用者
意図・目的	東地区の生涯学習施設の拠点として、住民の教養の向上、健康の増進等を図り、生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与するとともに、公民館の利用促進、社会教育の発展・充実を図ることを目的とする。

2.構成事務事業

小事業名		事業概要	事業費（千円）		
			R01決算	R02決算	うち特定財源
1	中央公民館管理事業	生涯学習施設（中央公民館）の適正かつ効率的・効果的な維持管理及び住民活動の場を提供する。	4,987	4,712	529
2	中央公民館トイレ改修事業	手洗い場自動水栓の設置	0	396	396

3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

○東地区の生涯学習施設の拠点としての管理と運営に努めた。 ○コロナ禍において国の補助金を活用しつつ、適切な感染防止対策を図ることができた。 ○令和2年度 ・開館日数： 256日 ・利用件数：1,193件 ・利用者数：10,406人 *新型コロナウイルス感染予防による緊急事態宣言等により、全日又は一部時間帯において臨時休館を実施

4.課題整理

	課題の有無		課題の内容	要因の特定
現状の課題	進捗管理	有	・施設全体の補修、修繕、設備の入替や更新等 ・未耐震であること	・施設の経年劣化と定期的な補修、修繕、計画的な財政措置
	事業内容	無		
	費用対効果	有		
中長期的な課題	進捗管理	有	・計画的な施設・設備の補修と更新 ・施設の運営形態の検討 ・持続可能な生涯学習の場の確保	・財政状況の悪化 ・公共施設再編検討委員会の答申
	事業内容	無		
	費用対効果	有		

5.総合評価

D	A：各小事業について計画どおりに進めることが必要 B：小事業について、事業の進め方に改善が必要 C：小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要 D：大事業全体の抜本的な見直しが必要
---	--

6.改善の方向性

○引き続き修繕・改修・更新を行い、安全な環境整備を目指し改善に取り組む。 ○公共施設再編検討委員会の答申内容等を踏まえ、社会教育委員や利用者の声による意見を参考に、円滑な施設管理や運営のあり方を検討する。
--

令和2年度事業評価（主要施策成果報告）シート

大事業名		図書館運営事業	款	項	目
			教育費	社会教育費	図書館運営費
総合計画	政策	地域で育て、地域で育つ、人を大切にするまちづくり	関連指標	[総合計画]	
	基本施策	地域で学ぶ生涯学習環境の充実		[総合戦略]	
	施策	生涯学習の推進			
	総合戦略				
個別計画				[その他]	

1.概要

事業内容	図書館サービスの向上をはかり質を高める。又、子育て支援のさらなる推進及び利用者のための講座等を時宜に合わせて開催する。
対象	利用者（町在住・在勤・在学者、広域利用者）
意図・目的	引き続き住民ニーズにあった図書充実やサービス提供に努める。また、施設環境を向上させ総合的に更なる利用者拡大を目標とする。

2.構成事務事業

小事業名		事業概要	事業費（千円）		
			R01決算	R02決算	うち特定財源
1	図書館運営事業	住民ニーズに合った図書の充実やサービスの向上を図り質を高める。また子育て支援のさらなる推進を行うとともに利用者のための講座などを時宜に合わせて開催する。	9,096	8,247	6
2	地形図買替事業	15年以上更新されていない図書館所蔵の1/25000地形図の買い替えを行う。昨年度からの事業で2年目となる。	49	53	0
3	図書館地域子育て支援・拡充事業	子育てや、読書・学習支援に役立つ、各年齢に合わせた図書、雑誌、視聴覚資料等を導入し、必要な情報をタイムリーに提供することで、子育て支援関連事業の推進を図る。 幼稚園、保育所、こども園、すきっぷ、保健福祉センター、子育て包括支援センターなど子育て支援に関係する部署・機関と連携を図り、子育て支援に関連する講座の実施、情報の提供、展示スペースの活用などをはかり、地域として総合的に子育て支援を行っていく。	723	704	700
4	図書館業務充実事業	豊能町域の明治以降の国土地理院地図について収集を行う。豊能町の郷土資料として、また小中学校の教材としての活用が期待できる。 図書館業務の一部を個人及び団体のボランティアに担っていただくことで、生涯学習の推進及び利用者とともに作り上げていく図書館を目指す。体験講座や研修講座の実施、ボランティア活動に必要な物品の整備を行う。 新型コロナウイルスへの対応として、図書除菌機の購入やステイホームを支援するための図書館資料の購入を行う。	0	3,700	3,304
5	新しい生活様式に対応した図書館環境構築事業	新型コロナウイルス感染拡大防止に必要なパーティション等の購入	0	992	992

3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

○主な実績数値
開館日数：図書館240日・中央公民館図書室250日 貸出人数：46,098人 貸出冊数：148,656人
有効登録者数：5,564人 町民一人あたり貸出冊数：7.70冊
講座等催し：8回 展示：23回 本の展示テーマ：55種類 参加型展示：4種
○主な実施事業
新型コロナウイルス感染対策として、図書除菌機の導入やパーティションの設置を行う。
各種講座や参加型イベントが開催できない中で、ステイホームを支援する資料の購入や館内の本のテーマ展示に力を入れた。
*新型コロナウイルスの影響で4/1～5/31まで臨時休館。その後もイベントなどは開催できない状態が続く。

4.課題整理

	課題の有無		課題の内容	要因の特定
	進捗管理	無	・利用の広域化等により全体の利用数は微増だが、住民の利用者数は減少という傾向が続いている。昨年度は新型コロナの影響により大幅に減少した。 ・ニーズに対応する効果的な事業運営を行うための職員数の確保が難しい。	・少子高齢化による人口減少 ・利用者ニーズの多様化・多様化 ・司書等従事職員確保の困難さ ・各種経費の削減
中長期的な課題	事業内容	有	・広域化に伴う利用状況にもよるが、利用者の減少が見込まれる。限られた人員、経費で、より計画的に、魅力ある事業の構築に努めなければならない。	・少子高齢化による人口減少 ・利用者ニーズの多様化・多様化 ・司書等従事職員確保の困難さ
	費用対効果	無		

5.総合評価

B	A：各小事業について計画どおりに進めることが必要
	B：小事業について、事業の進め方に改善が必要
	C：小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要
	D：大事業全体の抜本的な見直しが必要

6.改善の方向性

○多様化・多様化する利用者ニーズを的確に調査・把握し、魅力ある事業の実施に努め、利用者の増加を図る。
○限りある経費の中でより効率的に図書館を運営するため、事業の実施や蔵書の適正な管理、資料の更新等について、中長期的な計画を策定し、計画に則って事業を推進する。

令和2年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名
決算書
生涯学習課
197p

大事業名	図書館管理事業	款	項	目
		教育費	社会教育費	図書館運営費

総合計画	政策	地域で育て、地域で育つ、人を大切にするまちづくり	関連指標	[総合計画]
	基本施策	地域で学ぶ生涯学習環境の充実		[総合戦略]
	施策	生涯学習の推進		
総合戦略	基本目標4 避けることができない未来にそなえる (3) 社会資本・都市機能等のマネジメント	[その他]		
個別計画	豊能町生涯学習施設個別施設（長寿命化）計画			

1.概要

事業内容	図書館利用者の快適性、安全性、利便性等を考えた適正な維持・管理を行う。
対象	利用者（町在住・在勤・在学者、広域利用者）
意図・目的	すべての図書館利用者に快適性、安全性、利便性等を考えた利用環境を提供する。 施設（昭和60年竣工）の老朽化に伴う対策を行う。

2.構成事務事業

小事業名		事業概要	事業費（千円）		
			R01決算	R02決算	うち特定財源
1	図書館管理事業	適正な維持・管理を行うことにより、すべての図書館利用者に快適性、安全性、利便性等を考えた利用環境を提供することができる。	5,315	5,373	0
2	図書館空調更新事業	図書館空調設備更新の実施設計を行う。	0	3,850	3,850

3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

○施設の修繕については、利用者の安全性・利便性を考慮し、危険度・緊急度の高いものを優先的に実施した。
○老朽化している図書館空調設備の更新の為、実施設計を行った。
 *新型コロナウイルスの影響で、4/1～5/31の間に臨時休館した。

4.課題整理

	課題の有無		課題の内容	要因の特定
	進捗管理	有		
現状の課題	事業内容	有	施設・設備の修繕・更新等	施設の老朽化と計画的な財政措置
	費用対効果	有		
中長期的な課題	進捗管理	有	・計画的な施設設備の修繕・更新等 ・施設の運営形態の検討 ・町内公共施設の再編	計画的な施設の管理方針とそれに伴う財政措置
	事業内容	有		
	費用対効果	有		

5.総合評価

D	A：各小事業について計画どおりに進めることが必要
	B：小事業について、事業の進め方に改善が必要
	C：小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要
	D：大事業全体の抜本的な見直しが必要

6.改善の方向性

○公共施設再編検討委員会の答申内容等を踏まえ、図書館協議会の意見を参考に円滑な施設管理や運営の在り方を検討する。
--

令和2年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名
決算書

生涯学習課
197p

大事業名	ユーベルホール管理事業	款	項	目
		教育費	社会教育費	ホール運営費

総合計画	政策	地域で育て、地域で育つ、人を大切にするまちづくり	関連指標	[総合計画]
	基本施策	地域で学ぶ生涯学習環境の充実		[総合戦略]
	施策	文化・芸術の振興		
	総合戦略	基本目標4 避けることができない未来にそなえる (3) 社会資本・都市機能等のマネジメント		[その他]
個別計画		豊能町生涯学習施設個別施設（長寿命化）計画		

1.概要

事業内容	ユーベルホールの保守管理運営と施設整備
対象	利用者
意図・目的	施設内外の多様な設備の保守管理や整備を行うことにより、貸館や主催事業などをいつも良好な環境下で実施する。

2.構成事務事業

小事業名		事業概要	事業費（千円）		
			R01決算	R02決算	うち特定財源
1	ユーベルホール管理事業	芸術・文化発表の場を提供するために、多種多様の施設設備の保守管理を行い、円滑な運営をする。	37,786	36,171	20,121

3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

○施設の老朽化により生じている不具合箇所の修繕について、優先順位をつけて実施することにより、貸館や主催事業などが滞りなく実施できた。（新型コロナウイルス感染症拡大防止対策により中止した事業を除く。）
○コロナ禍において国の補助金を活用しつつ、適切な感染防止対策を図ることができた。
○令和2年度
・利用日数：170日（R1：280日） ・利用者数：7,019人（R1：17,831人）

4.課題整理

	課題の有無		課題の内容	要因の特定
	進捗管理	有		
現状の課題	事業内容	無	・施設の更新、修繕等 ・付帯設備、機器の更新、修繕等 ・上記等による利用者の安全確保	・施設や機器の老朽化 ・新型コロナウイルス
	費用対効果	有		
中長期的な課題	進捗管理	有	・施設の大規模更新に多額の経費を要する ・周辺施設にも同様の課題があり、総合的な検討が必要	・人口の減少や高齢化のさらなる進展及び財政状況の悪化 ・長期的かつ総合的な整備方針の不備
	事業内容	無		
	費用対効果	有		

5.総合評価

D	A：各小事業について計画どおりに進めることが必要
	B：小事業について、事業の進め方に改善が必要
	C：小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要
	D：大事業全体の抜本的な見直しが必要

6.改善の方向性

○引き続き感染拡大防止に努め、安心して利用できる環境を整えることで利用者数の回復を図る。
○文化ホール運営協議会等の意見を聞きつつ、文化振興事業の実現に必要な施設管理や運営のあり方について検討を進める。
○公共施設再編検討委員会の答申内容等を踏まえ、大事業全体の抜本的な見直しを行うことで、長期的な需要に応じた持続可能な実演芸術の場の確保を図る。

令和2年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名
決算書生涯学習課
197p

大事業名	文化振興事業	款	項	目
		教育費	社会教育費	ホール運営費

総合計画	政策	地域で育て、地域で育つ、人を大切にするまちづくり	関連指標	[総合計画]
	基本施策	地域で学ぶ生涯学習環境の充実		[総合戦略]
	施策	文化・芸術の振興		
	総合戦略			[その他]
	個別計画	豊能町教育大綱（R2.1改定）		

1.概要

事業内容	文化芸術基本法、劇場、音楽堂等の活性化に関する法律に定める地方公共団体の責務に沿った事業を行う。
対象	町民及び文化芸術鑑賞されるもの
意図・目的	地域住民をはじめとする人々がホールに親近感を持ち、ホールへの事業参加や施設の活用を促し文化振興を促進する。

2.構成事務事業

小事業名		事業概要	事業費（千円）		
			R01決算	R02決算	うち特定財源
1	文化振興事業	地域の実情に応じた実演芸術の提供、地域固有の文化芸術振興や芸術家支援、実演芸術の普及啓発や鑑賞者育成を行う。	6,128	2,623	2,623

3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

○新型コロナウイルス感染拡大に伴い、多くの事業を中止せざるを得なかったが、状況に応じて感染対策を講じつつ、様々な主体との連携により公演等を実施し、実演芸術を提供することができた。

○地域アーティストによる継続的な公演により地域の固有性を確保することができた

○フィルハーモニックウインズ・大阪との連携協定により芸術家支援を行うことができた

【公演実績】

- ・ユーベルロビー登録者によるロビーコンサート（4回）
- ・オンラインコンサート
- ・フィルハーモニックウインズ・大阪（町と連携協定を行っている）によるホールコンサート（3回）及びロビーコンサート（3回）、オンライン配信（1回）
- ・昭和のうたコンサート
- ・家族と楽しむ落語の世界

4.課題整理

	課題の有無		課題の内容	要因の特定
現状の課題	進捗管理	有	・ジャンルや利用者の固定化 ・参加型事業の未実施 ・他事業連携が不十分 ・普及啓発や鑑賞者育成	・予算の縮減や費用対効果を重視した演目の設定 ・実演芸術に関し総合的かつ専門的に企画、実施することができる人材がいない ・施設の更新や存続にかかる方針が定まっておらず、中長期的な企画運営が困難
	事業内容	有		
	費用対効果	有		
中長期的な課題	進捗管理	有	同上	同上
	事業内容	有		
	費用対効果	有		

5.総合評価

C	A：各小事業について計画どおりに進めることが必要
	B：小事業について、事業の進め方に改善が必要
	C：小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要
	D：大事業全体の抜本的な見直しが必要

6.改善の方向性

○ユーベルホール管理事業における施設運営の方向性と連携しつつ、下記の視点で、事業を行いながら文化芸術振興にかかる中長期的なあり方を整理する。

○ユーベルロビー登録者による公演については地域の固有性を確保する取り組みとして引き続き行う必要があるが、その他自主事業等については、内容や提供方法、歳入確保等について、文化ホール運営協議会や外部の専門家等の意見を活用しつつ、実験的な取り組みを行うことで今後の企画運営のあり方を検討する。

令和2年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名
決算書

生涯学習課
199p

大事業名	文化財保護事業	款	項	目
		教育費	社会教育費	文化財保護費
総合計画	政策	地域で育て、地域で育つ、人を大切にするまちづくり	関連指標	[総合計画]
	基本施策	地域で学ぶ生涯学習環境の充実		[総合戦略]
	施策	文化・芸術の振興		
	総合戦略	基本目標2 「住みたくなる」子育て環境をつくる (1) 豊能ならではの教育の付加価値の創造		
	個別計画	豊能町教育大綱（R2.1改定）		

1.概要

事業内容	埋蔵文化財調査、保全、寺社調査、石造物調査
対象	町内文化財
意図・目的	文化財の保護啓発、埋蔵・民俗・石造文化財等の調査、保全により文化財を後世に伝える。

2.構成事務事業

小事業名		事業概要	事業費（千円）		
			R01決算	R02決算	うち特定財源
1	文化財保護事業	埋蔵文化財調査・保全・寺社調査、石造物調査等の文化財に関する事業を行う。 豊能町の文化財を後世に伝える。	27	207	0

3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

○埋蔵文化財調査 3件
○有形文化財の補修 1件
○中世城郭の調査 12ヶ所
○滅失のおそれのある石造文化財の保護 2件

4.課題整理

	課題の有無		課題の内容	要因の特定
	進捗管理	無		
現状の課題	事業内容	有	文化財の新発見が続いている。調査、保護、活用について適切な対処が求められている。	調査、保護、活用に至るまでには、多くの時間と費用が必要とされる。
	費用対効果	無		
中長期的な課題	進捗管理	有	有形・無形・民俗・埋蔵文化財、史跡、名勝等それぞれの分野に対して適切な対処が求められるが、それに対応する組織体制の構築、及び人材育成。	組織体制の構築と長期的な視点に立った人材育成が図られていない。
	事業内容	有		
	費用対効果	無		

5.総合評価

B	A：各小事業について計画どおりに進めることが必要
	B：小事業について、事業の進め方に改善が必要
	C：小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要
	D：大事業全体の抜本的な見直しが必要

6.改善の方向性

文化財は保護し、活用することが求められている。これは、文化財が「国民共通の宝」であるという文化財保護法の趣旨に基づくものである。町内所在の文化財も「町民の宝」でもある。この趣旨を町民に啓発し、庁内においても文化財保護活用の機運を醸成することによって、予算の確保や人材育成を図るものとする。
--

令和2年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名
決算書
生涯学習課
199p

大事業名	郷土資料館管理事業	款	項	目
		教育費	社会教育費	文化財保護費

総合計画	政策	地域で育て、地域で育つ、人を大切にするまちづくり	関連指標	[総合計画]
	基本施策	地域で学ぶ生涯学習環境の充実		[総合戦略]
	施策	文化・芸術の振興		
	総合戦略	基本目標3 地域の資源をしごととお金にかえる (1) 新たな観光パッケージやビジネスの創出		[その他]
個別計画		豊能町生涯学習施設個別施設（長寿命化）計画		

1.概要

事業内容	郷土資料館の管理、展示物の適正管理、来館者への案内
対象	住民、近隣住民、豊能町に興味がある方
意図・目的	豊能町の文化財の啓発施設としての適切な運用と適正管理

2.構成事務事業

小事業名		事業概要	事業費（千円）		
			R01決算	R02決算	うち特定財源
1	郷土資料館管理事業	郷土資料館の適正な維持管理事業を行う。	454	556	4

3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

○来館者数 445人（大人199人、子ども246人 町内367人、町外78人）
○支障木の伐採 5本
○屋外展示の大寒天蓋の覆い屋根の設置

4.課題整理

	課題の有無		課題の内容	要因の特定
	進捗管理	無	施設・設備の修繕・計画等	施設の老朽化、計画的な修繕計画
現状の課題	事業内容	有		
	費用対効果	無		
中長期的な課題	進捗管理	有	計画的な施設の維持管理 町内公共施設の再編	長期的な展望に立った施設配置計画の不在
	事業内容	有		
	費用対効果	有		

5.総合評価

D	A：各小事業について計画どおりに進めることが必要
	B：小事業について、事業の進め方に改善が必要
	C：小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要
	D：大事業全体の抜本的な見直しが必要

6.改善の方向性

施設は築80年以上、建物自体が木造建築物として文化財的な価値を有する。老朽施設のため、防犯や防災設備については限界がある。この状況では、町民の貴重な文化財を預かる施設として適切ではない。現施設の補修・改修等は現実的でないため、防犯・防災設備が整えられる施設への移転の実現に向け諸方面に働きかけていく。

令和2年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名
決算書

生涯学習課
201p

大事業名	体育施設管理事業	款	項	目
		教育費	保健体育費	スポーツ振興費
総合計画	政策	地域で育て、地域で育つ、人を大切にするまちづくり		
	基本施策	地域で学ぶ生涯学習環境の充実		
	施策	生涯スポーツ・レクリエーション活動の推進		
	総合戦略	基本目標4 避けることができない未来にそなえる (3) 社会資本・都市機能等のマネジメント		
個別計画		豊能町生涯学習施設個別施設（長寿命化）計画		

1.概要

事業内容	各体育施設の適正な維持管理を行う。（スポーツ広場、ふれあい広場）
対象	利用者
意図・目的	町民一人一人、また各種団体の活動の場として利用しやすい施設を維持し、住民の体力推進に寄与する。

2.構成事務事業

小事業名	事業概要	事業費（千円）		
		R01決算	R02決算	うち特定財源
1 体育施設管理事業	下記体育施設の維持、管理を目的とする。 ・スポーツ広場 ・ふれあい広場	3,732	3,228	1,622

3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

○ふれあい広場・スポーツ広場の施設利用や管理が適切に行われた。
○町民だけでなく近隣市町の地域住民の利用もあり、住民の健康増進に寄与した。
○令和2年度 ・ふれあい広場…テニスコート：638件 運動広場：142件 ゲートボール場：0件 ・スポーツ広場…球技場：44件 運動広場：192件

4.課題整理

	課題の有無		課題の内容	要因の特定
	進捗管理	有	・施設・設備の修繕・更新等	・施設の老朽化と計画的な財政措置
現状の課題	事業内容	有		
	費用対効果	有		
中長期的な課題	進捗管理	有	・計画的な施設・設備の修繕・更新等 ・町内公共施設の再編	・計画的な施設の管理方針とそれに伴う財政措置
	事業内容	有		
	費用対効果	有		

5.総合評価

B	A：各小事業について計画どおりに進めることが必要
	B：小事業について、事業の進め方に改善が必要
	C：小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要
	D：大事業全体の抜本的な見直しが必要

6.改善の方向性

○令和3年度から3年間の民間管理委託により、効率的な管理を図り、その後は公共施設再編の動向次第により、指定管理を視野に運営形態を検討する。

令和2年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名
決算書生涯学習課
203p

大事業名	シート管理事業	款	項	目
		教育費	保健体育費	スポーツ振興費

総合計画	政策	地域で育て、地域で育つ、人を大切にするまちづくり	関連指標	[総合計画]
	基本施策	地域で学ぶ生涯学習環境の充実		[総合戦略]
	施策	生涯スポーツ・レクリエーション活動の推進		
	総合戦略	基本目標4 避けることができない未来にそなえる (3) 社会資本・都市機能等のマネジメント		
	個別計画	豊能町生涯学習施設個別施設（長寿命化）計画		[その他]

1.概要

事業内容	シートの指定管理制度による適正管理業務
対象	利用者
意図・目的	民間事業者による指定管理者の能力を活用し、地域住民等に提供するサービスの効果効率を向上させ、地域住民の一層の健康管理を図る。

2.構成事業事業

小事業名		事業概要	事業費（千円）		
			R01決算	R02決算	うち特定財源
1	シート管理事業	平成19年度より、1期5年間で指定管理を導入 平成29年度から令和3年度まで、3期目 指定管理により、民間活力を導入し、効果的な運営を図る。	53,180	50,244	594
2	シート改修事業	シートの老朽化により、各種改修工事を行うための実施設計費用 ①トップライト改修工事 ②カーテンウォール面シール打替え工事 ③屋上防水改修工事	0	3,135	2,800
3	シート管理維持体制 持続化事業	新型コロナウイルス感染拡大防止措置に伴い、指定 管理事業者への財政的支援を行い、持続可能な施設 運営を図る。	0	8,440	8,440

3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

○コロナ感染拡大防止措置のため、指定管理事業者への財政支援を行い、持続可能な運営を図れた。
○民間活力により、サービスの効果効率を図り、一層の健康増進を図れた。
○令和2年度利用者数
・プール/ジム/スタジオ 98,231人 ・アリーナ 24,814人
・第2体育場 2,939人 ・テニスコート 6,248人
・会議室 142人 ・総利用者数 132,374人
*新型コロナウイルスの影響で4/1～5/31のスタジオ、プールの教室は中止。テニスコートは4/7～5/18使用中止。貸館は4/7～5/31 臨時休館、1/14～3/1 20時閉館

4.課題整理

	課題の有無		課題の内容	要因の特定
現状の課題	進捗管理	無	・施設・設備の修繕・更新等	・施設の老朽化と計画的な財政措置
	事業内容	有		
	費用対効果	無		
中長期的な課題	進捗管理	無	・将来的に見込まれる利用者の減 ・計画的な施設・設備の修繕・更新等 ・施設の運営形態の再検討 ・町内公共施設の再編	・計画的な施設の管理方針とそれに伴う財政措置
	事業内容	有		
	費用対効果	有		

5.総合評価

D	A：各小事業について計画どおりに進めることが必要
	B：小事業について、事業の進め方に改善が必要
	C：小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要
	D：大事業全体の抜本的な見直しが必要

6.改善の方向性

○多種多様な住民ニーズに対応し、利用者の新規獲得を図る。
○公共施設再編検討委員会の答申内容を踏まえ、円滑な施設管理や運営のあり方を検討する。

令和2年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名
決算書
生涯学習課
203p

大事業名	生涯スポーツ推進事業	款	項	目
		教育費	保健体育費	スポーツ振興費
総合計画	政策	地域で育て、地域で育つ、人を大切にするまちづくり		
	基本施策	地域で学ぶ生涯学習環境の充実		
	施策	生涯スポーツ・レクリエーション活動の推進		
	総合戦略	基本目標4 避けることができない未来にそなえる (2) コミュニティ力の維持・強化の支援		
	個別計画	豊能町教育大綱（R2.1改定）		
		関連指標	[総合計画]	
			[総合戦略]	
			[その他]	

1.概要

事業内容	学校体育施設の開放、スポーツフェスティバルの開催、各種スポーツ教室の開催、スポーツ施設の運営等
対象	住民
意図・目的	誰もがいつでもどこでも気軽に参加でき、スポーツに親しみ、自分にあった生涯スポーツを見つけることができるような事業を開催する。

2.構成事務事業

小事業名	事業概要	事業費（千円）		
		R01決算	R02決算	うち特定財源
1 生涯スポーツ推進事業	様々なスポーツ・レクリエーション活動の場と機会を提供し、地域における生涯スポーツの振興を図る。 町立スポーツセンターを1日貸し切り、老若男女がスポーツや遊びなどを楽しめるイベントであるスポーツフェスティバルを開催する。なお、当日は、施設内を無料開放とし、参加者が自由に各ブースを選択して参加できるよう多様な内容を提供する。	2,116	1,620	0

3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

○新型コロナウイルス感染拡大に伴い、下記事業を中止せざるを得なかった
・スポーツ推進委員会主催事業…様々な年齢層の方が参加し、スポーツの機会提供と参加者交流を図る。 トレッキング教室、フロアカーリング大会、サイクリング教室等
・スポーツフェスティバル…多種多様な内容で、色々なスポーツに触れる機会を図る。
・町体育連盟への支援（各種スポーツ団体による町民大会等）
・町民ゴルフ大会

4.課題整理

	課題の有無		課題の内容	要因の特定
	進捗管理	無		
現状の課題	事業内容	有	・町民ニーズへの対応	・スポーツの多様化や多様化 ・少子高齢化
	費用対効果	無		
中長期的な課題	進捗管理	無	・生涯スポーツ推進のための活動（受入）団体の存続	・スポーツ団体構成員の高齢化等による後継者不足 ・少子高齢化
	事業内容	有		
	費用対効果	無		

5.総合評価

B	A：各小事業について計画どおりに進めることが必要
	B：小事業について、事業の進め方に改善が必要
	C：小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要
	D：大事業全体の抜本的な見直しが必要

6.改善の方向性

○多種多様なスポーツ事業の展開を図り、生涯楽しめるスポーツを発見できる機会を増やす。
○自主的活動の推進。活動団体（既存・新規）への指導・育成、支援。
○町内活動団体の情報提供と紹介。
○町の認知を高める（他地域からの参加者を集められる）イベントの開催。

